

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態 でどのように動かすかを身につけることができる。</p> <p>※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012~2014年、フロリダデイズ ニールワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナル ジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパー チャンプル』TV出演。</p>							
<p>【到達目標】 ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダンスに対するガイダンス&オリエンテーション・音を知ることができるようになる
2回目	音を知る、音を作る(リズム・グルーブ)8・16・32ビート、表と裏、UP、DOWN、SIDE、前後斜めのノリ、グルーブをつくるには、ループからの裏 切り、タイミング、テンポを身につけることができる
3回目	ボディーコントロール、自然の力/胸、腰、首、肩のアイソレーション、連動、パワーのON・OFF、慣性の法則、遠心力、浮力、動、反発力、張 力を身につけることができる
4回目	音を作る、音質、ニュアンス/アクセント、強、クイック、ストップ、カウンターパワー、スローパワー、スピードorパワークイック→ストップ・クイ ク→スロー→ストップができるようになる
5回目	音を作る、重さ、ノーカウント/スピード→一定のスピードをキープする。足首の使い方、視覚→動き方を残像にすることができるようになる
6回目	精神、右脳を使う/思考⇔感じる、内部と外部のイメージ イメージ→表現、形を音に合わせる、感覚を音に合わせてフリースタイル、インブ ロ、コア、核、ボディーコントロール、クリエイト、マインドコントロールを身につけることができる
7回目	グルーブトレーニング/パーカッションの練習、パーツチョイスができるようになる
8回目	重さトレーニング/スピード、タイミング、視覚的、三種の視点からトレーニングができるようになる
9回目	フリースタイル/音に何を合わせるのか?を身につけることができる。
10回目	フリースタイル/感覚、動き、形、イメージ、感情、パワー、筋肉収縮ストレッチを身につけることができる
11回目	教え方をマスターする/形、動き、音、イメージを説明できる。
12回目	教え方をマスターする/感覚、コツ、メカニズムを説明できる。
13回目	メインムーヴ+サブムーヴ=振付ができるようになる。
14回目	総合/音、身体、精神で必要な技術をルーティンでできるようになる。
15回目	前期テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にする。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーブとノリの出し方、身体の動かし方、どのパーツをどのような状態 でどのように動かすかを身につけることができる。</p> <p>※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012~2014年、フロリダディズ ニワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナル ジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパー チャンプル』TV出演。</p>							
<p>【到達目標】 ①身体の動かし方 ②音表現 ③ダンスの構造 を理解する。踊る時の考え方、感じ方を身につけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方を身につけることができる
2回目	2人組での組み系、操作系、ペアダンスなどのバリエーション、見せ方、パズルのような思考を身につけることができる
3回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
4回目	組み系、操作系、ペアダンスを自身で創作することができるようになる
5回目	身体の中身だけではなく、外部を意識したダンスを身につけることができる
6回目	外部を表現することにより、空間を利用し大きな見せ方を身につけることができる
7回目	小道具を使ってエンターテインメント性を高めることができるようになる。
8回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
9回目	小道具を使用し、自分以外のコントロールをすることができるようになる。(スティック・タオル・バンダナ・ポール・ロープ・服・ ペットボトル・ステッキ・椅子 etc...)
10回目	リズムを作り出す為、両手によりリズムを出してセッションすることができるようになる。
11回目	作品創りのノウハウ、音の構成と作品の構成、6人チーム×5による創作
12回目	作品創りのノウハウを身につけることができる
13回目	音の構成と作品の構成の説明ができる
14回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
15回目	前期テスト/授業の中から大切な要素を抜粋してテストを行う
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	音表現を身体でするのがダンス 身体を動かす時にスピードとパワーとイメージを大切にします。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。 ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012~2014年、フロリダデイズ ニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナル ジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパー チャンプル』TV出演。							
【到達目標】 教え方、作品の創り方をマスターすることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	重さ、音にのる/ダンスを楽しむ、考え方を再確認、ルーティーン、技術を身につけることができる
2回目	フリースタイルでの考え方/何を音に合わせるのか、ルーティーン、技術を身につけることができる
3回目	揃える/揃える為にする事、何を揃えるか、形、動き、ベクトル、スピード、ニュアンス、アクセント、気持ち、テンション、イメージ、何をどの方向に、どのようにするかを説明できる
4回目	音に感覚を合わせる/力、収縮、ストレッチ、脱力、振動、イメージ、遠心力、フィーリングダンス、音表現を身につけることができる
5回目	作品制作・3D/3Dに見せる方法、High&Low、回転、移動、音の構成、リズム作り、ボディパーカッション、作品の構成ができるようになる
6回目	作品制作・3D/ユニゾン、シンメ、ソロ、パート、ジャンル、グルーブ、音質、テンション、クール、表現方法を身につけることができる
7回目	作品制作・3D/フォーメーション、移動、High&Low、雰囲気、ロール、アトオン、2人組で踊ることを身につけることができる
8回目	ジャッジトレーニング/振付、ダンサー、ジャッジの3組に分かれ学生による振付作品を学生がジャッジしコンテストを実施できるようにする
9回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を作品創りに活かすことができるようになる
10回目	ジャッジトレーニング/ジャッジの項目を理解し説明できるようにする
11回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解できるようにする
12回目	ジャッジトレーニング/ダンスの動きについて説明することができる
13回目	ジャッジトレーニング/レベルアップに活かすことができるようになる
14回目	ジャッジトレーニング/ダンスの技術、上手さが何なのかを理解することにより技術点の高い作品を創作できるようにする
15回目	テスト/技術を動視したダンスを作成し発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得する。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ヒップホップ HIPHOP	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロとして指揮するために必要な作品作りや揃え方、ダンスの技術を知って作品を評価できる。 ※実務者経験:ダンサー、振付、脚本、演出、MC、ジャッジ、お笑いなど幅広く活動している。2012~2014年、フロリダディズニーワールドの世界大会日本代表チーム振付三年連続金メダル。ダンスダイナマイトジャッジ、USAナショナルズファイナルジャッジ、Legend Tokyo Chapter.1 振付師に選抜される。1999年、ニューヨーク留学。ダンスダイナマイト優勝。『スーパーチャンプル』TV出演。							
【到達目標】 教え方、作品の創り方、自分自身以外をコントロールする、揃え方をマスターすることができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	学生がインストラクターになり、レッスンを進め、その内容を評価することができる
2回目	インストラクターとしての指導ノウハウとして、形・動き・音・イメージ・感覚・メカニズムを考えレッスンを行うことができるようになる
3回目	インストラクターとしてのレッスンの流れや指導方法、喋り方を身につけることができる
4回目	ダンステクニックの収縮・ストレッチ・脱力・気力を身につけることができる
5回目	ダンステクニックの・振動・イメージ・遠心力の感覚をつかみ身につけることができる
6回目	右脳を使ってイメージ力をUPすることを身につけることができる
7回目	右脳の特徴を理解し、音のイメージを身体で表現することができるようになる
8回目	右脳開発。作品の流れを構成し、具体的な動きを創ることができるようになる
9回目	これまでに学んだダンスに必要な要素を取り入れ、大切に、振付をすることができるようになる
10回目	これまでに学んだあらゆるカテゴリーを意識してダンスをすることができるようになる
11回目	踊る・仕切る・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
12回目	教える・従う・創る ダンスに関わる仕事の種類と適性を説明できる
13回目	学生による創作と発表をし、評価をすることができるようになる
14回目	学生による創作と発表をし、評価に基づき迅速に修正をすることができるようになる
15回目	テスト/2年間学んだダンスに必要な要素を取り入れ、自身で振付をしたダンスを発表
準備学習 時間外学習	音と身体と精神の3つの項目を理解しておく
評価方法	1. 定期試験(30%) 2. 課題成果(40%) 3. 出席率(30%)
受講生への メッセージ	ダンサーとして踊る事のレベルアップだけではなく、創り手としての作品の創り方と伝え方、指導方法を習得することができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	ハウス (HOUSE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース	形態		(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】

全てのジャンルに活かせる体幹を身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介、目標を声に出して自分の意識を高めることができる
2回目	HOUSEだけでなく、ダンスに使う基礎を習得することができる
3回目	アイソレーション、筋肉トレーニング、ステップを身につけることができる
4回目	アイソレーション、体幹トレーニング、ステップを身につけることができる
5回目	筋肉・体幹トレーニング、色んなステップを使った応用を習得することができる
6回目	色んなステップを使って、アクセントを付け、体で表現することができるようになる
7回目	ここまでやったステップを使って、振付、構成を作ることができるようになる
8回目	基礎のステップを使ってストーキングという練習方法で即興をし、表現をすることができる
9回目	各トレーニングをし、ストーキング、振付を行い、説明することができる
10回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEのステップを取り入れ振付ができるようになる
11回目	各トレーニングのち、ストーキング。HOUSEだけではなく、HIPHOPを混ぜた振付ができるようになる
12回目	基礎を1段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
13回目	基礎を2段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
14回目	基礎を3段階上げて体の意識を変える方法を身につけることができる
15回目	今までのステップの見直し。振付を行い各自課題、意識を再確認することができる
準備学習 時間外学習	授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 課題成果 (30%) 3. 実地試験 (20%)
受講生への メッセージ	1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、全てのことを意識して取り組みましょう。

【使用教科書・教材・参考文献】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	ハウス (HOUSE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早川 昌貴
学科	ダンス&アクター科	授業	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクター科 全コース	形態		(単位)	2	曜日・時限	火曜日3限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
HOUSEの技術だけでなく、自分の体を知り、表現の仕方を学ぶことができる。
※HOUSEを軸にHIPHOP、TAP、Be Bopなどさまざまなジャンルをしている。
三重・愛知・大阪などで活動し、アーティストのバックダンサーやPV出演、コンテストへの出場、クラブイベントや舞台、振付など、ジャンル問わず幅広く活動している。

【到達目標】
全てのジャンルに活かせる体幹を身につける

授業計画・内容

1回目	前期で学習した内容の理解度を確認する為テストを実施
2回目	テストでの課題を見直し再度注意点を意識して踊る
3回目	今までの動きにグルーブを入れ、動きに幅をつけることができるようになる
4回目	軸を意識し、基礎の型に変化をつけることができるようになる
5回目	軸を意識し、基礎の型に変化とグルーブをつけることができるようになる
6回目	軸を意識し変化をつけながらグルーブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
7回目	軸を意識し変化をつけながらグルーブを出し、表現方法の幅を広げることを習得することができる
8回目	フロアの動きを多く取り入れた振付を習得することができる
9回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、身体のコントロールの方法を習得することができる
10回目	難易度の高いフロアの動きを取り入れ、体重移動の方法を身につけることができる
11回目	ストーキングという練習法で自由に表現することができるようになる
12回目	覚えた動きを自由に組み替えて振付をすることができるようになる
13回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、説明することができる
14回目	自由に組み替えた振付を皆で覚えて共有し、構成をつけて発表することができる
15回目	1年間学んだ内容を取り入れ自作で振付をしテストを実施する

準備学習
時間外学習
授業でやった事を次回までにしっかり練習してくる

評価方法
1. 定期試験 (50%)
2. 課題成果 (30%)
3. 実地試験 (20%)

受講生への
メッセージ
1つ1つの動きに意味があるので、自分には必要ないと決めつけず、すべての動きを意識して活かせるように頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	JAZZ B	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	各コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜・2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>柔軟性や筋力を鍛えながら、JAZZダンスの様々なスキルを習得。身体の使い方を理解しながら、重心の運び方や足先の意識をしっかりと持ち動けるようにする。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>JAZZダンスの各テクニックの向上と、パフォーマーとしての意識の確立。</p>							

授業計画・内容													
1回目	基礎的な用語、基礎的な体の使い方を学び理解する。												
2回目	タンジュ、プリエ、フラットバックのやり方を理解して実践する。												
3回目	シャッセ、パドブレ、ロンデのやり方を理解し実践する。												
4回目	シェネのやり方を理解し実践する。												
5回目	ピケターンのやり方を理解し実践する。												
6回目	ピルエットのやり方を理解し実践する。												
7回目	クロスフローを行い、一連のテクニックを繋げられるようにする。												
8回目	ランベルセのやり方を理解し実践する。												
9回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップ。												
10回目	テストの振付。振付を正確に覚え動きの流れや重心の移動を意識出来るよう実践する。												
11回目	テストの振付。目線を効果的に使いアクセントをつけられるよう実践する。												
12回目	テストの振付。動きに緩急をつけ、メリハリのある踊りを出来るよう実践する。												
13回目	前期テスト												
14回目													
15回目													
準備学習 時間外学習	日課として柔軟や筋トレなどの基礎トレーニングをしつつ、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックをしっかりと復習し、次回の授業で活かせるようにする。												
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1.定期試験 50%</td> <td style="width: 70%;"><small>評価方法はGPA制度となります</small></td> </tr> <tr> <td>2.出席率 50%</td> <td>100～90点 S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>89～80点 A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>79～70点 B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>69～60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1.定期試験 50%	<small>評価方法はGPA制度となります</small>	2.出席率 50%	100～90点 S		89～80点 A		79～70点 B		69～60点 C		59点以下 F 不合格
1.定期試験 50%	<small>評価方法はGPA制度となります</small>												
2.出席率 50%	100～90点 S												
	89～80点 A												
	79～70点 B												
	69～60点 C												
	59点以下 F 不合格												
受講生への メッセージ	他人は気にせず自分のペースで学んでください。とにかく大事なのは昨日の自分に負けないよう着実に一步一步スキルアップしていく事だと思います。そしてどんなジャンルでも探究心と楽しむ心を忘れずに！												
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p>													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	JAZZ B+	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	原 佳宏
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	各コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜・3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>柔軟性や筋力を鍛えながら、JAZZダンスの様々なスキルを習得。身体の使い方を理解しながら、重心の運び方や足先の意識をしっかりと持ち動けるようにする。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>既に習得しているテクニックを更に高いレベル上げて、手先足先や目線、体の角度など隅々まで意識して動けるようになる。</p>							

授業計画・内容													
1回目	シェネ、ピルエットのダブルをスムーズに行えるよう実践する。												
2回目	パドブレ、ピルエット、ロンデを繋げて行えるように実践する。												
3回目	クロスフローを行い、様々なテクニックを繋げられるよう実践する。												
4回目	ピルエットのバリエーションを増やし実践する。												
5回目	ランベルセのやり方を理解し実践する。												
6回目	ピルエット、フェッテ、アチチュードを繋げられるように実践する。												
7回目	シェネジュッテのやり方を理解し実践する。												
8回目	アクセルターンのやり方を理解し実践する。												
9回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップ。												
10回目	テストの振付。振付を正確に覚え動きの流れや重心の移動を意識出来るよう実践する。												
11回目	テストの振付。目線を効果的に使いアクセントをつけられるよう実践する。												
12回目	テストの振付。動きに緩急をつけ、メリハリのある踊りを出来るよう実践する。												
13回目	前期テスト												
14回目													
15回目													
準備学習 時間外学習	日課として柔軟や筋トレなどの基礎トレーニングをしつつ、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックをしっかりと復習し、次回の授業で活かせるようにする。												
評価方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1.定期試験 50%</td> <td style="width: 70%;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2.出席率 50%</td> <td>100～90点 S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>89～80点 A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>79～70点 B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>69～60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1.定期試験 50%	評価方法はGPA制度となります	2.出席率 50%	100～90点 S		89～80点 A		79～70点 B		69～60点 C		59点以下 F 不合格
1.定期試験 50%	評価方法はGPA制度となります												
2.出席率 50%	100～90点 S												
	89～80点 A												
	79～70点 B												
	69～60点 C												
	59点以下 F 不合格												
受講生への メッセージ	他人は気にせず自分のペースで学んでください。とにかく大事なのは昨日の自分に負けないよう着実に一步一步スキルアップしていく事だと思います。そしてどんなジャンルでも探究心と楽しむ心を忘れずに！												
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p>													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	JAZZ HIPHOP	必修 選択	必修・選択	年次	1	担当教員	石井 元気
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	各コース			曜日・時限	木曜・1限		

【授業の学習内容】

JAZZ・バレエの基礎+どのダンスジャンルにも必要な動ける身体作りをして、思い通りに踊る事を出来るようにしていきます。

【到達目標】

思い通り踊れるようになるための要素習得をし、それぞれ理解、説明が出来るようにばる ①スムーズに踊るためのウォーミングアップ ②JAZZ・バレエの基礎力向上 ③アイソレーションの習得

授業計画・内容

1回目	ウォーミングアップ、アイソレーションを習得、理解		
2回目	1回目の内容をスムーズに行い、より身体に感覚として落とし込んでいき、必要性を説明する事が出来る。		
3回目	JAZZ・バレエの基礎(プリエ)のを習得、理解し説明出来る		
4回目	JAZZ・バレエの基礎(アームポジション)を理解し説明出来る		
5回目	JAZZ・バレエの基礎(フラットバック・コントラクション)を理解し説明出来る		
6回目	基本のウォーキングを習得、理解し説明が出来る		
7回目	ウォーキングの応用を理解し自分なりに実践する事が出来る		
8回目	ポージングに必要な要素を理解し説明出来る		
9回目	ウォーキング+ポージングの基本を理解した上で個性を出していく事が出来る		
10回目	楽曲の内容を具体的にイメージをし、ダンスの表現に繋げることが出来る		
11回目	10回目の内容を表現するための構成作りを理解し実践、説明出来る		
12回目	10回目の内容を表現するための振付を制作出来る		
13回目	10-12回目の成果の発表		
14回目	テスト内容の振付の説明、準備		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習	現場でも動画でもたくさんのダンサーさんを見て、なぜその人が魅力的なのかを具体的に分析、研究をする。		
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	楽しみながら気付いたら必要なスキルが身についている、そんな授業を心がけているので全力で楽しんでいきましょう!!!		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	JAZZ HIPHOP	必修 選択	必修・選択	年次	2・3	担当教員	石井 元気
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	各コース	形態		(単位)	2	曜日・時限	木曜・2限

【授業の学習内容】

基本内容は前の年と同じですが、全ての進行スピードが早めです。その中でどれだけ内容を理解し自分の中に落とし込めるか、より実践的な感覚を養っていきます。

【到達目標】

短い時間の中で内容をどれだけ自分らしく高められるかのスキルを養っていきます ①ふ振り覚えを早くし、即座にオリジナリティを加えられるようにする ②使用楽曲に対してのアプローチの幅を増やす ③動きの流れの中にメリハリをつけ、よりストーリー性を持たせる

授業計画・内容

1回目	前の年でやった内容がどれだけ身についているのか確認、十分な部分、足りてないところを自身で確認、修正できる		
2回目	ダンスに必要な体幹の力を活かしているのか応用編の筋力トレーニングを理解し説明できる		
3回目	ウォーキング+ポージング+フリーの3つの基本をおさえ、なおかつオリジナリティを加える事が出来る		
4回目	踊りの緩急を付け方、感覚を理解し実践、説明ができる		
5回目	4回目の内容をさらに昇華させる		
6回目	目線の使い方、自分の得意な目線、角度を理解し実践出来る		
7回目	自身の服装をダンスへ活かす事ができる、服装毎の魅せ方を意識、理解、実践する事ができる		
8回目	JAZZ・バレエの基礎(パッセ&ルルベキープ)を理解、説明ができる		
9回目	8回目の内容をより安定させるためのトレーニングを理解、説明ができる		
10回目	8、9回目の内容をピルエットなどのテクニックに応用、実践する事が出来る、説明ができる		
11回目	楽曲の理解の深掘りをグループを作り話し合い、様々な角度から捉える事ができる、説明ができる		
12回目	楽曲の深掘りした内容を構成で表現する事ができる、根拠を説明できる		
13回目	楽曲を深掘りした内容を振付で表現する事ができる、根拠が説明できる		
14回目	テスト内容の振り入れ、準備		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習	自分に必要な筋力トレーニング、ストレッチ、セルフケアを継続し怪我のない身体をキープする		
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	進みは早くなりキツイトレーニングも増えますが、基本は楽しんで一つずつやっていくことは変わらないので最後まで楽しんでやっていきましょう!!!		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street Dance)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	竹本 克俊
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			曜日・時限	2	月曜2限	
【授業の学習内容】 POPの基礎、技術を通して、身体の使い方と表現方法、音に対するアプローチを習得する。 ※実務者経験：愛知を中心にPOPを主体として活動。 現在は県内のスタジオでのレッスン、イベント出演や県外のダンスバトルに出場している。 Danceのみならず、DJやMCとしても活動している。							
【到達目標】 POPの基礎、技術を通して、各個人のダンスに活かせる部分 (Hit / ボディコントロール / 表現方法 / 音に対するアプローチなど)を習得し、応用することができる。							

授業計画・内容			
1回目	腕・上半身のHit / ポージングを習得する。		
2回目	首・下半身のHit / POPでのステップを習得する。		
3回目	フリーズノを習得する。		
4回目	ウォークアウトを習得する。		
5回目	ハンドウェーブを習得する。		
6回目	ボディウェーブを習得する。		
7回目	ウェーブの繋げ方 / バリエーションを増やす。		
8回目	サックウォークを習得する。		
9回目	ボトムファーストを習得する。		
10回目	クリーピングを習得する。		
11回目	エアポーズを習得する。		
12回目	ロメオツイストを習得する。		
13回目	エジプシャンツイストを習得する。		
14回目	前期総復習		
15回目	定期試験		
準備学習 時間外学習	各授業で行った内容を復習する。 (各授業の最後に行うフリはそれまでに行った技術も入れます。)		
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	POPの技術は他のダンスのジャンルに用いられる要素が多くあります。 授業内だけではなく、時間外に復習も大切です。 1つ1つの動きを自分の中で理解し、応用できるよう頑張りましょう!!		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	ストリートダンス (Street Dance)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	竹本 克俊
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			2	曜日・時限	月曜2限	
【授業の学習内容】 POPの基礎、技術を通して、身体の使い方と表現方法、音に対するアプローチを習得する。 ※実務者経験：愛知を中心にPOPを主体として活動。 現在は県内のスタジオでのレッスン、イベント出演や県外のダンスバトルに出場している。 Danceのみならず、DJやMCとしても活動している。							
【到達目標】 POPの基礎、技術を通して、各個人のダンスに活かせる部分 (Hit / ボディコントロール / 表現方法 / 音に対するアプローチなど)を習得し、応用することができる。							

授業計画・内容													
1回目	前期復習												
2回目	フレックスを習得する。												
3回目	ネックフレックスを習得する。												
4回目	ツイストフレックスを習得する。												
5回目	ロメオツイストを習得する。												
6回目	エジプシャンツイストを習得する。												
7回目	アニメーションの基本の動き(スロー / ストップ / ティッキング)を習得する。												
8回目	ロボットを習得する。												
9回目	コブラを習得する。												
10回目	ブガールスタイルの復習。												
11回目	アニメーションスタイルの復習。												
12回目	後期総復習												
13回目	定期試験												
14回目													
15回目													
準備学習 時間外学習	各授業で行った内容を復習する。 (各授業の最後に行うフリはそれまでに行った技術も入れます。)												
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50% <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td colspan="2">評価方法はGPA制度となります</td></tr> <tr><td>100~90点</td><td>S</td></tr> <tr><td>89~80点</td><td>A</td></tr> <tr><td>79~70点</td><td>B</td></tr> <tr><td>69~60点</td><td>C</td></tr> <tr><td>59点以下</td><td>F不合格</td></tr> </table>	評価方法はGPA制度となります		100~90点	S	89~80点	A	79~70点	B	69~60点	C	59点以下	F不合格
評価方法はGPA制度となります													
100~90点	S												
89~80点	A												
79~70点	B												
69~60点	C												
59点以下	F不合格												
受講生への メッセージ	POPの技術は他のダンスのジャンルに用いられる要素が多くあります。 授業内だけではなく、時間外に復習も大切です。 1つ1つの動きを自分の中で理解し、応用できるよう頑張りましょう!!												
【使用教科書・教材・参考書】													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソウル (SOUL)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大山留奈
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース				曜日・時限	水曜・4限		

【授業の学習内容】

SOULとは、1971年からアメリカで放送されたダンス音楽番組『SOUL TRAIN』の中で踊られていたダンスのことで、年代的にストリート系ダンスの基礎となる動きが多い。そのため、ボディーコントロールや、リズムトレーニングを中心に行い、その体の使い方から色々なSOUL STEPや動きを習得する。

【到達目標】

SOUL STEPの名前と動きを見えながら、自分の思った通りにコントロール出来る体を習得する。＜具体的な目標＞①身体各部分ごとに広い可動範囲を習得する。②膝でリズム(アップ・ダウン)を取りながら、各部分の可動範囲を習得する。③体重移動や体勢を変えながらのリズム取りを習得する。④色々なSOUL STEPの名前と動きを習得する。

授業計画・内容

1回目	SOULダンスとは。体幹トレーニング、アイソレーション①、リズムトレーニング①(ファンキーブロードウェイ、パスストップ含む)の仕方を習得する
2回目	筋トレ、アイソレ①、リズトレ①の演習。ウォーターゲート、チャチャ(アップ)、フォーコーナー、バードの仕方を習得する
3回目	筋トレ、アイソレ①、リズトレ①の演習。ストップ、6ステップ、チャチャ(ダウン)、3ステップ、ペンギンの仕方を習得する
4回目	筋トレ、アイソレ①、リズトレ①の演習。カウボーイ、テーブル、ペーパーシート、シャムロックの仕方を習得する
5回目	筋トレ、アイソレ①、リズトレ①の演習。スパイク、ロックフリーク、ジゴロ、ナスティーの仕方を習得する
6回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。チョコレートシェイク、ワームの仕方を習得する
7回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。フリーキーディッキー、ジャークの仕方を習得する
8回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。フラミンゴウォーク、WAACKの基礎①を習得する
9回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。WAACKの基礎②を習得する
10回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。WAACKの基礎①②をふまえた振付の演習
11回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。今まで習得したものをふまえたテストの振付の演習
12回目	テスト
13回目	筋トレ、アイソレ②、リズトレ①の演習。テストの振付を踊り込み、自分の出来ていない所を意識しながら練習して、自分の思った通りにコントロール出来る体を習得する
14回目	
15回目	

**準備学習
時間外学習**
目標を達成するには、毎日実際に体を動かして復習することが必要不可欠です。最低でも1時間(アイソレとリズトレ30分くらい、SOUL STEP30分くらい)復習して、その際、体のどこを止めて、どこを動かしているのか、可動範囲が大きくなっているか、などを意識しながら練習することが必要です。

評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(10%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(40%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

**受講生への
メッセージ**
SOUL STEPがそのまま現場で出てくることは少ないかもしれませんが、ストリート系ダンスの基礎となる動きが多いので、練習すればする程、他のジャンル(授業)にも、ダンス全体に役立ちます。踊りのGroove感が良くなるので、習得するまで諦めずに練習してください。1年生のうちにやることをやっておくと、2年生になった時に更にレベルアップした練習が、自分の為になります。

【使用教科書・教材・参考書】

YouTube…SOUL TRAIN、Be Bop Crewなど

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソウル (SOUL)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大山留奈
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース						曜日・時限	水曜・4限

【授業の学習内容】

SOULは、年代的にストリート系ダンスの基礎となる動きが多いので、前期に引き続き、ボディーコントロールや、リズムトレーニングを中心に行い、更に身体の可動範囲を大きくしていきながら、色々なSOUL STEPや動き、Groove感を習得する。

【到達目標】

SOUL STEPの名前と動きを覚えながら、自分の思った通りにコントロール出来る体を習得する。＜具体的な目標＞①身体の各パーツごとに広い可動範囲を習得する。②膝でリズム(アップ・ダウン)を取りながら、各パーツの可動をGroove感よく動かす。③体重移動や体勢を変えながらのリズム取りをGroove 感よく行う。④色々なSOUL STEPの名前と動きを習得する。

授業計画・内容

1回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。ウェービー、チャールストーン、プレップの仕方を習得する。
2回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。マッシュポテト、オールドマン、ホースの仕方を習得する。
3回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。エス、スニーク、ベビーシッターの仕方を習得する。
4回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。トラッキン、ウォッシングマシーンの仕方を習得する。
5回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。ブレイクダウン(横揺れ)、ゲス、ゲスの胸ロールの仕方を習得する。
6回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。ブレイクダウン(横ノリ、Tの逆字)の仕方を習得する。
7回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。LOCK基礎①の仕方を習得する。
8回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。LOCK基礎②の仕方を習得する。
9回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。LOCK基礎①②をふまえた振付の演習。
10回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。今まで習得したものをふまえたテストの振付①の演習。
11回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。今まで習得したものをふまえたテストの振付①②の演習。
12回目	テスト
13回目	筋トレ、アイソレ②、リズムレ①②の演習。テストの振付を踊り込み、自分の出来ていない所を意識しながら練習して、自分の思った通りにコントロール出来る体を
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

目標を達成するには、毎日実際に体を動かして復習することが必要不可欠です。最低でも1時間(アイソレとリズムレ30分くらい、SOUL STEP30分くらい)復習して、その際、体のどこを止めて、どこを動かしているのか、可動範囲が大きくなっているか、曲調に合わせてノッているか、などを意識しながら練習することが必要です。

評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(10%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(40%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

受講生への
メッセージ

SOUL STEPがそのまま現場で出てくることは少ないかもしれませんが、ストリート系ダンスの基礎となる動きが多いので、練習すればする程、他のジャンル(授業)にも、ダンス全体に役立ちます。踊りのGroove 感が良くなるので、習得するまで諦めずに練習してください。1年生のうちにやることをやっておくと、2年生になった時に更にレベルアップした練習が、自分の為に出来ます。

【使用教科書・教材・参考書】

YouTube…SOUL TRAIN、Be Bop Crewなど

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソウル (SOUL)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大山留奈
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース						曜日・時限	水曜・3限

【授業の学習内容】

1年生の時よりもレベルアップしたボディーコントロールやリズムトレーニングを習得する。そして難易度の高いSOUL STEPを習得する。振付の中で、曲調を感じながら踊る事を意識する。グループごとに踊り、人前で魅せられるように実習する。

【到達目標】

自分の体を使いこなし、曲調に合ったGroove感で踊れることを習得する。〈具体的な目標〉①アップとダウンで歩きながらのボディーコントロールを習得する。②難易度の高いSOUL STEPを習得する。③振付の中で、『抜き』『ため』『止め』『強弱』などのアクセントを意識出来ることを習得する。

授業計画・内容

1回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の仕方を習得する。ティルトの仕方を習得する。
2回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。ポイントの仕方を習得する。
3回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。ゴーゴー、バンプの仕方を習得する。
4回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅰ)…振り覚えを速くすること
5回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅱ)…『抜き』『ため』『止め』『強弱』などを意識す
6回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅲ)…グループごとに踊り、人前で曲調に合ったGroove感で踊れるように意識
7回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅰ)
8回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅱ)
9回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。振付を覚えて踊り込む(Ⅲ)
10回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。テストの振付(前半)を覚えて踊り込む。(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)
11回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。テストの振付(後半)を覚えて踊り込む。(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)
12回目	テスト
13回目	筋トレ、アイソレ③、リズム③の演習。テストの振付で各自指摘された所を意識しながら練習し、人前で曲調に合ったGroove感で踊れる事を
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

目標を達成するには、毎日実際に体を動かして復習することが必要不可欠です。最低でも1時間(アイソレとリズムトレ30分位、SOUL STEPや振付30分位)復習して、その際、体のどこを使っているか、重心がどこにあるか、アクセントや体の角度はどうか、曲調に合ったGroove感で踊るにはどうしたらいいか、などを意識して考えながら練習することが必要です。

評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(10%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(40%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

受講生への
メッセージ

7回目位にアイソレ③の小テストを行います。ある程度習得していないと、授業が苦しくなってくると思うので、皆さんのためです。毎日諦めずに練習して下さい。色々と考えながら練習すればする程、他のジャンルや授業、ダンス全体に役立ちます。

【使用教科書・教材・参考書】

YouTube…SOUL TRAIN、Be Bop Crewなど

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソウル (SOUL)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大山留奈
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース						曜日・時限	水曜・3限

【授業の学習内容】
 ボディーコントロールやリズトレを使って、フリーで踊れることを習得する。振付の中で、曲調に合ったGroove感で踊るために、重心や、身体の角度、「抜き」「ため」「止め」「強弱」などのアクセントを意識しながら練習する。それに加えて、振り作りをして教え合うことで、より良くするためにはどうしたらいいかを考えながら、自分の色で人前で魅せられるように実習する。

【到達目標】
 自分の身体を使いこなし、曲調に合ったGroove感と自分の色を出しながら、人前で魅せられることを習得する。
 <具体的な目標>①ボディーコントロールやリズトレを使ってフリーで踊れることを習得する。②「抜き」「ため」「止め」「強弱」などのアクセントの付け方を習得する。③自分の色で人前で魅せられることを習得する。

授業計画・内容

1回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の仕方を習得する。振付踊り込み(I)・・・「抜き」「ため」「止め」「強弱」などを意識する。
2回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(II)・・・グループごとに踊り人前で曲調に合ったGroove感で自分の色で踊る。
3回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(III)・・・振付の続きを各自作り、ペアになりお互い教え合う。発表し合い、直す所を伝える。
4回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(I)
5回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(II)
6回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(III)
7回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(I)
8回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(II)
9回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。振付踊り込み(III)
10回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。テストの振付を覚える・・・(I)(II)を意識する。
11回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。テストの振付の続きを覚えて踊り込む・・・(I)(II)を意識する。
12回目	テスト
13回目	筋トレ、アイソレ④、リズトレ④の演習。テストで各自指摘された所を意識しながら練習し、人前で曲調に合ったGroove感で自分の色で踊れる。
14回目	
15回目	

**準備学習
時間外学習**
 目標を達成するには、毎日実際に体を動かして復習することが必要不可欠です。最低でも1時間(アイソレとリズトレ30分位、振付30分位)復習して、その際、体のどこを使っているか、重心がどこにあるか、アクセントや体の角度はどうか、曲調に合ったGroove感で踊るにはどうしたらいいか、などを意識して考えながら練習することが必要です。

評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(10%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(40%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

**受講生への
メッセージ**
 ボディーコントロールやリズトレを使ったフリーの練習は、曲にのりながら練習しましょう。フリーの練習も振付の練習も、カッコよくGroove感よく踊るためにはどうしたらいいかを色々と考えながら練習して下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

YouTubeなど

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンスコース					曜日・時限	月曜・2限
【授業の学習内容】 ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。							
【到達目標】 ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する							

授業計画・内容	
1回目	1音と2音のステップと基本リズムの習得
2回目	ランニングフラップの習得、バックフラップとステップの習得
3回目	ランニングフラップ (ボールチェンジ)、ヒールドロップの習得
4回目	ランニングフラップ (トゥホップ)、クランプロールの習得
5回目	ランニングフラップ (シャッフルホップ)、パドル&ロールの習得
6回目	アイリッシュステップ、チェンジとノーチェンジの習得
7回目	タイムステップ1、プレインタップ (横) の習得
8回目	タイムステップ1、プレイン (前) の習得
9回目	タイムステップ2、ブレイクステップの習得
10回目	タイムステップ2、パドル&ロールの習得
11回目	タイムステップ3、ズローの習得
12回目	タイムステップ3、前期で学んだステップのバリエーションの習得
13回目	テスト
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	習熟度に応じ、授業内で出された課題を次の授業で講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合も同様とする。授業では毎回新しいステップを学びますので復習が必要となります。
評価方法	評価方法はGPA制度となります 1.定期試験 70% 2.出席率 30% 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感はお休みの取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンスコース					曜日・時限	火曜・5限

【授業の学習内容】

ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。

【到達目標】

ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する

授業計画・内容

1回目	1年時に学んだステップの確認テスト
2回目	バックフラップ、ドゥローバックの習得。
3回目	クロスワイドドゥローバックの習得。
4回目	ダブル・トリプルドゥローバックの習得。
5回目	ヒールバックとトリプルヒールの習得。
6回目	ヒールバックとワルツクログの習得。
7回目	バッファロー、ズローの習得。
8回目	バッファロー、マキシフォードの習得。
9回目	学んだステップにターンを加えたものの習得。
10回目	学んだステップにターンを加えたものの習得。
11回目	前期に学んだステップ（指定されたもの）を入れて振付を考える。
12回目	前期に学んだステップ（指定されたもの）を入れて振付を考える。
13回目	テスト
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

習熟度に応じ、授業内で出された課題を次の授業で講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合も同様とする。授業では毎回新しいステップを学びますので復習が必要となります。

評価方法	1.定期試験 70% 2.出席率 30%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	-------------------------	---

受講生への
メッセージ

ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感は間の取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンスコース			(単位)	2	曜日・時限	月曜・2限
【授業の学習内容】 ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。							
【到達目標】 ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する							

授業計画・内容			
1回目	前期のステップの復習		
2回目	タイムステップ～ブレイクステップへの連携ステップの習得		
3回目	シムシャムステップ、プルバック（シングル）の習得		
4回目	ワルツクログ、プルバック（シングル）の習得		
5回目	バックステップ、ドゥローバックの習得・プルバック（シングル）		
6回目	バックステップ、ドゥローバックの習得・プルバック（シングル）		
7回目	バッファロー、マキシフォード・プルバック（ダブル）の習得		
8回目	バッファロー、マキシフォード・プルバック（ダブル）の習得		
9回目	学んだステップのリズム変換、プルバックの習得		
10回目	バックステップを含めたステップのコンビネーションを習得		
11回目	基本ステップの総復習		
12回目	基本ステップの総復習		
13回目	テスト		
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習			
評価方法	1.定期試験 70% 2.出席率 30%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感は間の取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】 タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンスコース					曜日・時限	火曜・5限

【授業の学習内容】

ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。

【到達目標】

ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する

授業計画・内容

1回目	前期の復習
2回目	スループの習得
3回目	スループ (ボールトウ)、ドゥローバックの習得
4回目	ドゥローバック (クロスワイド)、プルバック (シャッフルホップ) の習得
5回目	ドゥローバック(ダブル)・プルバック(シャッフルホップバー無し)の習得
6回目	ドゥローバック(トリプル)、基本ステップをつなげ振付の仕方を習得
7回目	ターンのバリエーションを習得
8回目	トリプル以上のバリエーション、プルバック (リープ) の習得
9回目	今までのステップのリズム変換、プルバック (リープ) の習得
10回目	今までのステップのリズム変換、プルバック (リープ) の習得
11回目	タップの振付を考える (振り付けの課題を与え、役割分担)
12回目	タップの振付を考える (振り付けの課題を与え、役割分担)
13回目	テスト
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

習熟度に応じ、授業内で出された課題を次の授業で講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合も同様とする。授業では毎回新しいステップを学びますので復習が必要となります。

評価方法	1.定期試験 70% 2.出席率 30%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	-------------------------	---

受講生への
メッセージ

ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感は間の取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コレオグラフ (Choreograph)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科全コース					曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 ダンスの構造や技術を知り、振付の仕方を学習する							
【到達目標】 一人で振付ができるようになる レベルの高いダンスを理解し、それを創作できるようになる							

授業計画・内容			
1回目	心技体の技 音表現		
2回目	心技体の体 身体操作 人間の力と自然の力		
3回目	心技体の心 精神コントロール 知識や考え方 右脳のイメージ力		
4回目	ダンスレベルを上げる 音表現と身体操作でどのようにダンスのレベルを上げるか		
5回目	アレンジ 1つのルーティーンを曲を変えても踊れるようにアレンジをする		
6回目	音を作り音を設計する ダンスの設計図であるカウント割り 道具を使った音表現		
7回目	エネルギーベクトルを表現 空間固定・軸固定		
8回目	揃える技術 音・動き・形・イメージ・感情・感覚を揃える		
9回目	ルーティーン創作 ルーティーンを数人で振り付ける		
10回目	ルーティーン創作発表 ルーティーンを数人で振り付ける		
11回目	作品制作 コンセプト、音、振り付け		
12回目	作品制作 コンセプト、音、振り付け		
13回目	テスト 作品製作で作った作品をテストします		
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習			
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	クリエイション (CREATION)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	安形 学
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科全コース					曜日・時限	火曜3限
【授業の学習内容】 ダンスタンチアの作品作りだけではなく、複数の作品で1つの公演を作る							
【到達目標】 1つの公演を作る為の組織の役割や必要性を学ぶ							

授業計画・内容			
1回目	作品と公演の作り方 アートとエンタメの違い 振付技術の確認		
2回目	台本・ストーリーの作り方 登場人物キャラクターの軸と観客の感情軸		
3回目	オリジナルストーリー制作 キャスト、振付師、ダンサー、組織決め		
4回目	振り付①② 組織を理解しよう		
5回目	振り付①② 組織を理解しよう		
6回目	振り付③④ 他のシーンとのバランスを見る		
7回目	振り付③④ 他のシーンとのバランスを見る		
8回目	振り付⑤⑥ ストーリーの軸と感情時期を考える		
9回目	振り付⑤⑥ ストーリーの軸と感情時期を考える		
10回目	振り付⑦⑧ シーンとシーンの接続部		
11回目	振り付⑦⑧ シーンとシーンの接続部		
12回目	ダンス公演発表		
13回目	テスト 作品作りに必要な知識をテストします。		
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習			
評価方法	1.定期試験 50% 2.出席率 50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	振り付をする前のコンセプト・ストーリー組織を作り、軸をぶらさない事の重要性を知って欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (Contemporary)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	清水
学科	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義 または演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基本のバレエエクササイズ、バレエとは違うモダンダンスのエクササイズを通して、身体の軸と筋肉を鍛えると共に、実践的なエクササイズを重ねるごとに自己研究と自己発見を深め、オリジナルダンスを習得する。</p>							
<p>【到達目標】 表現力の向上、健康で強固な身体作りを習得し、自己表現の幅を広げてゆき、世界に羽ばたけるアーティストになるセルフブランディングを目指す。</p>							

授業計画・内容		
1回目	ホートンテクニックベーシック: フラットバック、ラテラル	
2回目	ホートンテクニックベーシック: ラテラル、ティルト	
3回目	ホートンテクニックベーシック: フラットバック、ヒンジ	
4回目	ホートンテクニックベーシック: ラテラル、レッグスイング	
5回目	グラハムテクニックベーシック: コントラクション・アンド・リリース(呼吸)	
6回目	グラハムテクニックベーシック: スパイラルアラウンドバック、オフバランスウォーク	
7回目	グラハムテクニックベーシック: コンビネーション アクロス ザ フロア	
8回目	リモンテクニックベーシック: フォール・重心の使い方や確認	
9回目	リモンテクニックベーシック: フォール&リカバリー・エネルギーの使い方	
10回目	リモンテクニックベーシック: リバウンド・方向を変える	
11回目	リモンテクニックベーシック: サスペンション・呼吸とフォールする前の静止またはモーメンタム	
12回目	今までのベーシックテクニックを応用した振り付け作品	
13回目	テスト・発表	
14回目		
15回目		
準備学習時間 外学習	ストレッチ、フロアバー、センターエクササイズ等のエクササイズで体の芯を温め、ポジティブなイメージトレーニングを心掛ける。 アナトミー、骨や筋肉関連、栄養学の情報や書物を嗜む。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格
受講生へのメッセージ	コンテンポラリーの定義は国によって多種多様で、終わりのない実験の旅のようなジャンルだと思います。これが正解という自己表現は無く、日々表現の仕方が変わり、他人にアピールするというよりも前に、自分の味を深めてゆくプロセスを楽しみ、自己肯定力と柔軟さを兼ね備えることが出来れば良いと思います。 目の前の課題をこなしてゆく小さな日々の積み重ねが大きな自信に繋がります。	
【使用教科書・教材・参考書】		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンテンポラリー (Contemporary)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	清水
学科	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義 または演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基本のバレエエクササイズ、バレエとは違うモダンダンスのエクササイズを通して、身体の軸と筋肉を鍛えると共に、実践的なエクササイズを重ねるごとに自己研究と自己発見を深め、オリジナルダンスを習得する。</p>							
<p>【到達目標】 表現力の向上、健康で強固な身体作りを習得し、自己表現の幅を広げてゆき、世界に羽ばたけるアーティストになるセルフブランディングを目指す。</p>							

授業計画・内容			
1回目	ホートンテクニックベーシック: フラットバック、ラテラル		
2回目	ホートンテクニックベーシック: ラテラル、ティルト		
3回目	ホートンテクニックベーシック: フラットバック、ヒンジ		
4回目	ホートンテクニックベーシック: ラテラル、レッグスイング		
5回目	グラハムテクニックベーシック: コントラクション・アンド・リリース(呼吸)		
6回目	グラハムテクニックベーシック: スパイラルアラウンドバック、オフバランスウォーク		
7回目	グラハムテクニックベーシック: コンビネーション アクロス ザ フロア		
8回目	リモンテクニックベーシック: フォール・重心の使い方や確認		
9回目	リモンテクニックベーシック: フォール&リカバリー・エネルギーの使い方		
10回目	リモンテクニックベーシック: リバウンド・方向を変える		
11回目	リモンテクニックベーシック: サスペンション・呼吸とフォールする前の静止またはモーメンタム		
12回目	今までのベーシックテクニックなどを応用した振り付け作品		
13回目	テスト・発表		
14回目			
15回目			
準備学習時間 外学習	ストレッチ、フロアバー、センターエクササイズ等のエクササイズで体の芯を温め、ポジティブなイメージトレーニングを心掛ける。 アナトミー、骨や筋肉関連、栄養学の情報や書物を嗜む。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	コンテンポラリーの定義は国によって多種多様で、終わりのない実験の旅のようなジャンルだと思います。これが正解という自己表現は無く、日々表現の仕方が変わり、他人にアピールするというよりも前に、自分の味を深めてゆくプロセスを楽しみ、自己肯定力と柔軟さを兼ね備えることが出来れば良いと思います。 目の前の課題をこなしゆく小さな日々の積み重ねが大きな自信に繋がります。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス & ヴォーカル	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス & ヴォーカルコース			(単位)	2	曜日・時限	木曜・4限

【授業の学習内容】

ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。*実務経験 (Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	個人目標設定を行う
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知る
4回目	リズムの仕組みを知る
5回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
6回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる2(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
9回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う
10回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
11回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
12回目	試験(事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンス)
13回目	試験総括(改善点を知る)
14回目	-
15回目	-

準備学習
時間外学習

※授業の注意事項
 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。
 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。

評価方法	評価JGPA制度 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59~0点 F不合格	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%
------	---	--	-----------------------------

受講生へのメッセージ

歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&ヴォーカルコース			(単位)	2	曜日・時限	木曜・4限

【授業の学習内容】

ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。**※実務経験**
 (Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来る
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来る
3回目	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが出来る
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(HIT,POP)
5回目	共鳴(頭部)について理解する
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来る
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(STOP,体重移動)
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める
12回目	試験(事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンス)
13回目	試験総括(改善点を知る)
14回目	-
15回目	-

準備学習
時間外学習

※授業の注意事項
 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。
 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。

評価方法	評価JGPA制度 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59~0点 F不合格	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%
------	---	--	------------------------------------

受講生へのメッセージ

歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンス	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&ヴォーカルコース			(単位)	2	曜日・時限	木曜・5限

【授業の学習内容】

ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。*実務経験 (Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	個人目標設定を行う			
2回目	横隔膜を意識した腹式呼吸が出来るようになる			
3回目	マイクテクニック(声の乗せ方)を知る			
4回目	リズムとグループの仕組みを知る			
5回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(体重移動)			
6回目	簡単な動きをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る			
7回目	簡単なステップをつけた時の体の使い方(歌唱)を知る			
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(リズムを意識して振り付けを行える)			
9回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行う			
10回目	ステージパフォーマンスの流れを知る			
11回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる			
12回目	試験			
13回目	試験総括(改善点を知る)			
14回目	-			
15回目	-			
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。			
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-right: 1px solid black;"> 評価はGPA制度 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59～0点 F 不合格 </td> <td style="width: 30%; border-right: 1px solid black;"> 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格 </td> <td style="width: 40%;"> ・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60% </td> </tr> </table>	評価はGPA制度 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59～0点 F 不合格	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%
評価はGPA制度 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59～0点 F 不合格	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%		
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！			

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンス	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&ヴォーカルコース			(単位)	2	曜日・時限	木曜・5限

【授業の学習内容】

ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。**※実務経験**
 (Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り 2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、2021年6月、2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位) 2021年10月、「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位) (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師,2020年4月～TSMにてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来る
2回目	リズムを持続したまま歌唱パフォーマンスが出来る
3回目	リズム+グループを持続したまま歌唱パフォーマンスが出来る
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、フレックス)
5回目	共鳴(胸部)について理解する
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来る
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを自分自身で整えることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ストップ、エアポーズ)
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める
12回目	試験
13回目	試験総括(改善点を知る)
14回目	-
15回目	-

準備学習
時間外学習

※授業の注意事項
 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。
 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。

評価方法	評価JGPA制度 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59~0点 F不合格	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	・課題成果「出席・授業態度」:40%・実技試験:60%
------	---	--	------------------------------------

受講生へのメッセージ
 歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、ワイヤレスマイク、ダミーマイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	バレエ (Ballet)	必修選択	必修	年次	1&2	担当教員	清水
学科	ダンス&アクターズ科	授業形態	講義 または演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) バレエレッスン、センターレッスンを通して、身体軸を強化すると共に、骨や筋肉構造を知り、怪我をしにくい体作りを習得する。							
【到達目標】 バレエレッスンを通して、表現力の向上、応用できる強固なダンスの基礎を習得し、自分を知ることを通して、長期にわたるアーティスト活動の身体的能力とメンタルの強化を目指す。							

授業計画・内容											
1回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン: 立ち方の基礎										
2回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン: ターンアウトの基礎										
3回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/ボールドブラ(腕の筋肉強化)										
4回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/前回の復習										
5回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/ブリエ&タンジュ、パ・ド・ブレ&ピルエット										
6回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/前回の復習&強化										
7回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/グリッサード&アッサンブレ										
8回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/前回の復習&強化										
9回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/グリッサード&アッサンブレ&ジュッテ										
10回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/グリッサード&アッサンブレ&ジュッテ&シャッセ										
11回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/バーランセ&ストウニュー、エシヤッペ&ファイ&アッサンブレ										
12回目	フロアパー、ストレッチ バレエレッスン&センターレッスン/アレグロアンシェヌマン										
13回目	テスト										
14回目											
15回目											
準備学習時間 外学習	ストレッチやフロアパー、ブリエ、タンジュ等のエクササイズで体の芯を温め、ポジティブなイメージトレーニングを心掛ける。解剖学、骨や筋肉関連、栄養学の情報や書物を嗜む。										
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 定期試験(%)</td> <td style="width: 70%;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A 79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A 79~70点 B	4. 課題成果(%)	69~60点 C	5. 実地試験(%)	59点以下 F不合格
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります										
2. 小テスト(%)	100~90点 S										
3. レポート(%)	89~80点 A 79~70点 B										
4. 課題成果(%)	69~60点 C										
5. 実地試験(%)	59点以下 F不合格										
受講生へのメッセージ	バレエレッスンは真面目に取り組めば、必ず様々な場面で役に立つダンスの基礎です。辛抱強く積み重ねてゆく事が大切です。気がつけば、他のジャンルにも活かせる様々なテクニックが出来るようになります。 筋肉は正直なので、バレエレッスンを通して、怪我をしない体作り、忍耐力、表現力などをさらに育ててゆきましょう。継続は力なり、です。目の前の課題を淡々とこなしてゆく小さな日々の積み重ねが大きな自信に繋がります。										
【使用教科書・教材・参考書】											

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ボディメイク・ケア	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	横田 亜希子
学科	<small>ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科</small>	授業 形態	講義 または演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース						曜日・時限	月曜・1限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>身体の構造についての知識をつけながら身体をケアすることや身体感覚が上がる方法などを実験・検証する</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>それぞれの学びを得られること 体の不調への対処が出来るようになること</p>							

授業計画・内容	
1回目	はじめに
2回目	骨格構造について①背骨
3回目	骨格構造について②肩甲骨、腕
4回目	骨格構造について③骨盤、脚
5回目	骨格構造について④肋骨
6回目	骨格構造について⑤呼吸力学
7回目	小テスト
8回目	実験・検証
9回目	実験・検証
10回目	実験・検証
11回目	実験・検証
12回目	実験・検証
13回目	試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 1.定期試験 50% 100～90点 S 2.出席率 50% 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	1人1人身体は違います。この授業で自分の身体や心と向き合い、今後に役立つ様な学びを得られる素敵な時間にしてください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>スマホ・タブレット 筆記用具</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	リリカルジャズ	必修 選択	必修 選択	年次	2・3	担当教員	横田 亜希子
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科	授業	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース		形態	または演習	(単位)	2	曜日・時限	月曜・2限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>ダンサーにとって必要な身体の正しい使い方とジャズダンス特有のテクニック（ターン・バットマン・ジャンプ）を学ぶ。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>音楽と振付のイメージに合った感情や情景を訓練された身体を使って表現できる様になること。</p>							

授業計画・内容	
1回目	基本的動作／基本のステップとテクニック①
2回目	基本的動作／基本のステップとテクニック②
3回目	動きと呼吸の連動を考える／基本のステップとテクニック③
4回目	上半身(肋骨を中心に)の正しいポジション／基本のステップとテクニック④
5回目	下半身(骨盤を中心に)の正しいポジション／基本のステップとテクニック⑤
6回目	全身(背骨を中心に)正しいポジションと胴体の運用／振付を踊る
7回目	小テスト
8回目	テクニックの応用①／振付
9回目	テクニックの応用②／振付
10回目	テクニックの応用③／振付
11回目	テクニックの応用④／振付
12回目	テクニックの応用⑤／振付
13回目	試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 1.定期試験 50% 100～90点 S 2.出席率 50% 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	体調管理をして欠席しないこと。正しい身体の使い方を学び、テクニックの質の向上を目指してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
身体のラインが見えるレッスン着、ジャズシューズ	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台史	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小田 真砂世
学科	ダンス&アクターズ科 音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	各コース					曜日・時限	金曜・1限
【授業の学習内容】							
バレエ・ジャズ・ストリート、それぞれのスタイルの歴史や著名人に加えて、ダンス用語や作品を創る上での必要な舞台機構や舞台用語の基礎知識を習得する。							
【到達目標】							
ダンサー・インストラクターとして、現場に出ても困らない必要最低限の知識を習得する							

授業計画・内容													
1回目	バレエ初期の歴史まで習得												
2回目	バレエ後期(バレエリュス以降)の歴史 世界のバレエ団、バレエ作品の紹介と説明の習得												
3回目	バレエの重要性と基礎知識、バレエ重要人物、バレエ用語の習得												
4回目	バレエ編試験												
5回目	世界の民族舞踊に関する知識の習得 ジャズの歴史(ジャズの誕生まで)習得												
6回目	ジャズの歴史(様々なスタイルまで)とジャズダンス用語の習得												
7回目	ジャズ編テスト												
8回目	ストリートダンスの種類と歴史、各分野のダンサーの習得												
9回目	ストリートダンスの歴史と用語、ストリート用語の習得												
10回目	ストリート編テスト												
11回目	舞台機構の習得												
12回目	舞台用語と照明、舞台用語の習得												
13回目	総合テスト												
14回目													
15回目													
準備学習 時間外学習	習得しなければならない内容が多いため、1回の授業の進みが速いです。授業内で配られる資料やテストには必ず目を通す必要があります。												
評価方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1.定期試験 40%</td> <td style="width: 70%;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2.単元テスト 30%</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3.課題提出 15%</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4.出席率 15%</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1.定期試験 40%	評価方法はGPA制度となります	2.単元テスト 30%	100~90点 S	3.課題提出 15%	89~80点 A	4.出席率 15%	79~70点 B		69~60点 C		59点以下 F 不合格
1.定期試験 40%	評価方法はGPA制度となります												
2.単元テスト 30%	100~90点 S												
3.課題提出 15%	89~80点 A												
4.出席率 15%	79~70点 B												
	69~60点 C												
	59点以下 F 不合格												
受講生への メッセージ	この授業では、各單元ごとにテストを行います。総合テストにはその内容が出題されますので、テストや資料は保存をしておいてください。												
【使用教科書・教材・参考書】													
ダンス&アクト(舞踊舞台史) / 滋慶教育科学研究所 ジャ													
ズダンス誰が踊りをつないだか ルイジブッカー / マリカ著													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング I (Ear training I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日3・4限

【授業の学習内容】

作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。

音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、

身の回りの音から創造力を習得する。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】

音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容

1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト

準備学習
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ (Ear training I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	水曜日3・4限

【授業の学習内容】

作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。

音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、

身の回りの音から創造力を習得する。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】

音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容

1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却 復習

準備学習
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度シラバス

科目名 (英)	フリートーク	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日5限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。 ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティ、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p>【到達目標】 アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。 原稿読みを通して、伝える技術を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	標準語、標準アクセントの定義を理解し、説明することが出来る
2回目	アクセントの種類を理解出来るようになる
3回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	尾高形の名詞+「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う①
13回目	アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う②
14回目	前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごすことが必要です。
評価方法	①定期テスト: 50% ②課題成果: 40% ③授業態度、参加度 10%
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎(いしずえ)となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根っこの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
<p>【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度シラバス

科目名 (英)	DJ・アナウンス DJ・Announcement)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相川 真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日5限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アクセントを習得することは、表現に携わる人の必須課題のひとつです。この授業では、アクセントや発声の基礎を学び、声を使う仕事に必要な基本的技術・知識を身につけます。 ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティ、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p>【到達目標】 アクセントを意識した発声を通じて、基本と言われるアクセント法則を習得する。 原稿読みを通して、伝える技術を習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返りを行う。
2回目	実践的な原稿を使用して、アクセントの種類を理解し、説明することが出来る
3回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る①
4回目	実践的な原稿を使用して、有声音と無声音について理解し、発音することが出来る②
5回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る①
6回目	実践的な原稿を使用して、鼻濁音、母音の無声化について理解し、発音することが出来る②
7回目	実践的な原稿を使用して、撥音、促音、拗音の発音について理解し、発音することが出来る
8回目	実践的な原稿を使用して、長母音、連母音、重母音の発音について理解し、発音することが出来る
9回目	実践的な原稿を使用して、尾高形の名詞+「の」の平板化とその例外、名詞のアクセント活用について理解し、発音できる
10回目	実践的な原稿を使用して、平板動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
11回目	実践的な原稿を使用して、起伏動詞のアクセント法則について理解し、発音することが出来る
12回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う①
13回目	実践的な原稿を使用して、アクセント習得のため、実際の原稿読みを行う②
14回目	実践的な原稿を使用して、前期総括 これまで習得したアクセントや、その法則の振り返りを行う
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。 授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごす必要があります。
評価方法	①定期テスト: 50% ②課題成果: 40% ③授業態度、参加度 10%
受講生への メッセージ	アクセントの習得は、声を使う仕事をする人すべての礎(いしずえ)となります。「アクセント・アナウンスメント」の授業では、普段使っている「日常語」ではなく、現場において必ず必要な「標準語・共通語」について学び、身につけていきます。樹木で言うと根っこの部分です。しっかり根を張って、雨風にも負けない大きく丈夫な樹木に育つよう、しっかり学んでいきましょう！
<p>【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度シラバス

科目名 (英)	フリートーク&MC	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科 スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻 Vtuberエンターテイメント本科専攻			(単位)	4	曜日・時限	木曜日2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アナウンスメント(告知・発表)は、あらゆる表現に通じる基礎的技術のひとつです。この授業では、様々な種類の原稿読みを通して、アナウンスメントを理解し、表現能力を高めます。 ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。</p>							
<p>【到達目標】 原稿読みを通して、伝える技術を高めるだけでなく、逐次アクセントや発音をチェックし、習得する。 アナウンスメントの理解と共に、自らでも原稿が書けるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	場内アナウンス① 安定した声とアクセントで原稿が読めるようになる
2回目	場内アナウンス② 複合語・数詞のアクセントに留意して原稿が読めるようになる
3回目	車内アナウンス① 並列の言葉のイントネーションに留意して原稿が読めるようになる
4回目	車内アナウンス② 重母音の発音に留意して原稿が読めるようになる
5回目	名古屋市からのお知らせ① 鼻濁音と母音無声化に留意して原稿が読めるようになる
6回目	名古屋市からのお知らせ② 長い複合語のアクセント、イントネーションに留意して原稿が読めるようになる
7回目	インフォメーション① プロミネンスの箇所留意して原稿が読めるようになる
8回目	インフォメーション② 読み手を明確にした際の、情報発信力と主体性に留意して原稿が読めるようになる
9回目	交通情報① 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
10回目	交通情報② 読むスピードの変化に留意して原稿が読めるようになる
11回目	天気予報① 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
12回目	天気予報② 長文の際の読むスピードに留意して原稿が読めるようになる
13回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	前期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	アクセント習得は、日々の積み重ねでしか習得することが出来ません。授業内だけでなく、授業後の復習や、他の授業においても注意するなど、普段からアクセントを意識した姿勢で過ごす必要があります。また苦手な発音を見つけたら、集中してトレーニングするなど、日々の意識で必ず変化します。
評価方法	①定期テスト(50%) ②課題成果(40%) ③授業態度、出席率(10%)
受講生への メッセージ	個性のある読み方と、クセのある読み方は、似て非なるものです。長い間かけて身につけてしまった悪いクセは、意識的に時間をかけないと抜けません。アナウンスメントの授業では、ある時は徹底的に「素読み」したり、とことん速度を落として読んだり。その過程で自らのクセを浮かび上げさせ、改善へと導いていきます。一番の近道は『地道』です！頑張ってください！
<p>【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度シラバス

科目名 (英)	フリートーク&MC	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相川 真一
学科	ダンス&アクターズ科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 Vtuberエンターテイメント本科専攻					曜日・時限	木曜日2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 声を使う仕事をする者にとって必要な、原稿を読むという基本を繰り返し練習することでしっかり身に着ける。
 ※実務者経験: 地元名古屋を中心に、テレビ・ラジオの番組/パーソナリティー、レポーター、ナレーターとして活動。ステージでは、各種イベントや式典の司会、アコースティックギターでの音楽活動も行っている。また手話通訳士の資格を持ち、手話指導、手話通訳、手話教室などの福祉活動、講演・講座など開催。各方面にて幅広く活躍している。

【到達目標】
 発声、滑舌、アクセントなど基本に則り日本語の正しいリズムを覚える。
 ニュース、CM、長尺などいろいろな原稿を読む、表現することを学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	アクセント、滑舌、外郎売りなど発声練習の再確認を行い、出来るようになる。
2回目	発声練習として外郎売り。1週目の続き。ニュース、天気概況など感情を入れない原稿が読めるようになる。
3回目	スタジオ、マイク、カフなど機材に慣れるためにも録音する。それを聞いて自分の読みが出来るようになる。よりよくするためにはどうしたらいいかを考える。また、他の人の読みを聞く耳を育てる。
4回目	CMのナレーションは20秒という限られた時間の中で商品を最大限にアピールするためにどう読むかということを考えなければならない。そのための工夫をすること。また個性を出せるかを出来るようになる。
5回目	4週目に引き続き、よりよいCMにするために考えて読めるようになる。
6回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMIに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
7回目	CMのナレーションは1種類だけではない。商品や書き手の意図、どう伝えてほしいかというところを短い時間の中で汲み取り、その表現が出来るようになる。
8回目	7週目の続き。自分なりにいろいろ工夫して読めるようになる。
9回目	少しでも実際の現場の雰囲気味わうために、BGMIに乗せて録音をする。そして録ったもののチェック。
10回目	ニュース、CMに限らず詩や物語などいろいろな種類の原稿を読めるようになる。
11回目	基本は忘れず、常に自分なりの読み、表現を探る。
12回目	ここまで学習したことを思い出しながら、一音一音を大事にしっかり発音するよう心掛けて読めるようになる。聞き手にしっかり伝えられる表現者になるように自分の読みを把握し、さらに修正し、より良くしていく。
13回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる①
14回目	後期のまとめとして、これまでの課題が達成できているか確認し、原稿が読めるようになる②
15回目	テストを行う
準備学習 時間外学習	授業開始前に外郎売りで発声練習をしておくこと。 わからないアクセントは辞書を使って調べておくこと。
評価方法	①出席率(40%) ②課題成果(40%) ③試験(20%)
受講生への メッセージ	基礎は繰り返し練習で楽しくないかもしれませんが大事です。 長く喋りの仕事をしていけるように、きちんと身に付けてほしいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ラジオパーソナリティA・B	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	相川真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)		開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・3.4限
【授業の学習内容】							
番組展開をより個性をだせるようにする。1人進行も重視して進行。							
【到達目標】							
2人はもちろん、1人でも話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	徐々に放送しよう。						
2回目	1人進行に挑戦しよう①						
3回目	1人進行に挑戦しよう②						
4回目	ゲスト進行をしてみよう①						
5回目	ゲスト進行をしてみよう②						
6回目	1人で今のオススメを紹介しよう①						
7回目	1人で今のオススメを紹介しよう②						
8回目	好きな事に挑戦しよう。						
9回目	1人でメッセージを紹介しよう①						
10回目	1人でメッセージを紹介しよう②						
11回目	長期休暇前の放送をしよう。						
12回目	夏の出来事を語ろう。						
13回目	前期のまとめをしよう。						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学 習	ラジオを聞く						
評価方法	出席50%、授業への取り組み、意欲50%	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生への メッセージ	プリント類は用意をします。話す上で必要なものならなんでも持ち込みOK。						
【使用教科書・教材・参考書】							
持ち込み原稿							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ラジオパーソナリティA・B	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	相川真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)		開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻					曜日・時限	木曜日・3.4限
【授業の学習内容】							
番組展開をより個性をだせるようにする。1人進行も重視して進行。							
【到達目標】							
2人はもちろん、1人でも話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	徐々に放送しよう。						
2回目	1人進行に挑戦しよう①						
3回目	1人進行に挑戦しよう②						
4回目	ゲスト進行をしてみよう①						
5回目	ゲスト進行をしてみよう②						
6回目	1人で今のオススメを紹介しよう①						
7回目	1人で今のオススメを紹介しよう②						
8回目	好きな事に挑戦しよう。						
9回目	1人でメッセージを紹介しよう①						
10回目	1人でメッセージを紹介しよう②						
11回目	長期休暇前の放送をしよう。						
12回目	夏の出来事を語ろう。						
13回目	後期のまとめをしよう。						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学 習	ラジオを聞く						
評価方法	出席50%、授業への取り組み、意欲50%	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生への メッセージ	プリント類は用意をします。話す上で必要なものならなんでも持ち込みOK。						
【使用教科書・教材・参考書】							
持ち込み原稿							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ラジオパーソナリティ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	相川真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日・4限

【授業の学習内容】

集大成の1年として、ひとりでの進行をしっかり身につける。

2人でも1人でもすっきり進行出来る。

授業計画・内容

1回目	久々、近況含めて放送しよう！
2回目	1人のコーナーをつくろう①
3回目	1人のコーナーをつくろう②
4回目	オープニングトークからコーナーまで展開しよう①
5回目	オープニングトークからコーナーまで展開しよう②
6回目	コーナーからエンディングに挑戦しよう①
7回目	コーナーからエンディングに挑戦しよう②
8回目	長めの放送にチャレンジしよう①
9回目	長めの放送にチャレンジしよう②
10回目	1人で夏のオススメ紹介。
11回目	長期休暇前の放送をしよう。
12回目	夏の出来事を語ろう。
13回目	前期のまとめをしよう。
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習
ラジオを聞く

評価方法	出席50%、授業への取り組み 意欲50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	-------------------------	--

受講生への
メッセージ
さらに話を楽しみ、提供していきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

持ち込み原稿

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ラジオパーソナリティ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	相川真一
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日・4限

【授業の学習内容】

集大成の1年として、ひとりでの進行をしっかり身につける。

2人でも1人でもすっきり進行出来る。

授業計画・内容

1回目	久々、近況含めて放送しよう！
2回目	1人のコーナーをつくろう①
3回目	1人のコーナーをつくろう②
4回目	オープニングトークからコーナーまで展開しよう①
5回目	オープニングトークからコーナーまで展開しよう②
6回目	コーナーからエンディングに挑戦しよう①
7回目	コーナーからエンディングに挑戦しよう②
8回目	長めの放送にチャレンジしよう①
9回目	長めの放送にチャレンジしよう②
10回目	1人で夏のオススメ紹介。
11回目	長期休暇前の放送をしよう。
12回目	夏の出来事を語ろう。
13回目	後期のまとめをしよう。
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習
ラジオを聞く

評価方法	出席50%、授業への取り組み 意欲50%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	-------------------------	--

受講生への
メッセージ
さらに話を楽しみ、提供していきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

持ち込み原稿

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ミュージカル本科専攻			(単位)	2	曜日・時限	火曜5限
<p>【授業の学習内容】 ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。</p>							
<p>【到達目標】 ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する</p>							

授業計画・内容													
1回目	1年時に学んだステップの確認テスト												
2回目	バックフラップ、ドゥローバックの習得。												
3回目	クロスワイドドゥローバックの習得。												
4回目	ダブル・トリプルドゥローバックの習得。												
5回目	ヒールバックとトリプルヒールの習得。												
6回目	ヒールバックとワルツクログの習得。												
7回目	バッファロー、ズローの習得。												
8回目	バッファロー、マキシフォードの習得。												
9回目	学んだステップにターンを加えたものの習得。												
10回目	学んだステップにターンを加えたものの習得。												
11回目	前期に学んだステップ（指定されたもの）を入れて振付を考える。												
12回目	前期に学んだステップ（指定されたもの）を入れて振付を考える。												
13回目	テスト												
14回目													
15回目													
準備学習 時間外学習	習熟度に応じ、授業内で出された課題を次の授業で講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合も同様とする。授業では毎回新しいステップを学びますので復習が必要となります。												
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1.定期試験 70%</td> <td style="width: 70%; font-size: small;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2.出席率 30%</td> <td>100～90点 S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>89～80点 A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>79～70点 B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>69～60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1.定期試験 70%	評価方法はGPA制度となります	2.出席率 30%	100～90点 S		89～80点 A		79～70点 B		69～60点 C		59点以下 F 不合格
1.定期試験 70%	評価方法はGPA制度となります												
2.出席率 30%	100～90点 S												
	89～80点 A												
	79～70点 B												
	69～60点 C												
	59点以下 F 不合格												
受講生への メッセージ	ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感は間の取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。												
<p>【使用教科書・教材・参考書】 タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。</p>													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	タップ (TAP)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小田真砂世
学科	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ミュージカル本科専攻			(単位)	2	曜日・時限	火曜1限

【授業の学習内容】

ジャズダンスやタップの他、様々なスタイルを日本・NYで学び、舞台出演・コンテスト受賞の経験から、タップにおけるリズムの取り方、テクニック、表現力などを習得し、様々なダンスに応用が出来るようにする実習を行う。

【到達目標】

ミュージカル、ダンス業界で必要になる、タップの基本的な技術とリズム感、知識を習得する

授業計画・内容

1回目	前期の復習
2回目	スループの習得
3回目	スループ (ボールトゥ)、ドゥローバックの習得
4回目	ドゥローバック (クロスワイド)、プルバック (シャッフルホップ) の習得
5回目	ドゥローバック(ダブル)・プルバック(シャッフルホップバー無し)の習得
6回目	ドゥローバック(トリプル)、基本ステップをつなげ振付の仕方を習得
7回目	ターンのバリエーションを習得
8回目	トリプル以上のバリエーション、プルバック (リープ) の習得
9回目	今までのステップのリズム変換、プルバック (リープ) の習得
10回目	今までのステップのリズム変換、プルバック (リープ) の習得
11回目	タップの振付を考える (振り付けの課題を与え、役割分担)
12回目	タップの振付を考える (振り付けの課題を与え、役割分担)
13回目	テスト
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

習熟度に応じ、授業内で出された課題を次の授業で講師に見せること。やむを得ず授業を欠席した場合も同様とする。授業では毎回新しいステップを学びますので復習が必要となります。

評価方法	1.定期試験 70% 2.出席率 30%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	-------------------------	---

受講生への
メッセージ

ミュージカルでお馴染みのタップを学ぶことで、表現力の幅も広がりリズム感が養えます。リズム感はお間の取り方にも良い影響がありますので、前向きに取り組んでください。また、1回のお休みが大きな差になってきますので、復習をするようにしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

タップシューズに関して、使用頻度と使用状態により靴のネジが取れてしまうことがあります。その際は必ずボンドなどで補正をしてレッスンしてください。また、ネジが緩んでいないか常にチェックをしてください。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	永田 萌
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 柔軟性、筋力、リズム感を高めるトレーニングをしながら、踊る事、人前に立つ、パフォーマンスすることが出来る様にする。 ※実務者経験：1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。							
【到達目標】 身体能力の向上と動く事、人前に立つなど、苦手意識の払拭。 ダンススキルの向上。パフォーマーとしての意識の確立。							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレトレーニングの方法を覚え、出来るようになる
2回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる①
3回目	ジャズスキル、シェネ、ピルエットを覚え回る事に慣れ、出来るようになる②
4回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる①
5回目	足を高く上げる練習(バットマン)を行い出来るようになる②
6回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る①
7回目	ダウン、アップやアイソレーションを行い、リズム感を養うことが出来る②
8回目	振付を正確に覚え、目線が下がらない様に練習出来るようになる
9回目	重心移動を上手に使い、大きく踊れる様になる
10回目	体の面をしっかりと動かす様に練習出来るようになる
11回目	表情にも意識を払いながら、ただ踊る⇒パフォーマンスするに昇華させることが出来る
12回目	全員でもピッタリ揃って踊れる様にする。そうする為にはどうすれば実現できるか考え出来るようになる
13回目	鏡を見ずに他の人を見ないで、1人でも堂々と踊れる様になる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	1. 定期試験(80%) 2. 授業態度(20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	永田 萌
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎トレーニング、クロスフロアを行いながら、基礎テクニックを習得。 踊る事に慣れさせながら、踊りのノウハウを理解し、正しく体が使えるようにする。 ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p>【到達目標】 オーディションなどによくあるクロスフロアをしっかりとこなせるようになる。 基礎テクニックのやり方を理解し、それをしっかり踊りの中で活かせる様にする。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ターンアウトとシェネ、パドブレ、ステップ、シャッセの習得する
2回目	パラレルとピルエットの習得する
3回目	バットマンの習得する
4回目	リリース、コントラクションとタンジュ、プリエの練習を行い出来るようになる
5回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックを正確に繋げられる様にする
6回目	ピケターンを習得する
7回目	シャッセジャンプを習得する
8回目	ソデバスクを習得する
9回目	シェネジュッテを習得する
10回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる①
11回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる②
12回目	各テクニックの総ざらいとブラッシュアップを行い出来るようになる③
13回目	課題の振りを踊るテストを行う
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行いながら、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	それぞれのスピードで大丈夫なので、まず昨日の自分に負けない様、着実に一步一步スキルアップしていきましょう。 体を動かす、踊る事を楽しむ気持ちも忘れずに。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	永田 萌
学科	ダンス&アクター科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	火曜日2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎トレーニング、クロスフロアーを行いながら、振りではどう踊り、体をどう使えばどう見えるか、主観的にだけでなく、客観的に見る習慣をつけ、動きの中で意識出来る点を増やしていく ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p>【到達目標】 基礎的な知識、柔軟性、筋力、リズム感などを養いながら、クロスフロアーをしっかりと出来るようにして、JAZZ特有のしなやかでメリハリのある動きを目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	柔軟と筋トレ方法、ジャズの基本用語を覚え理解する
2回目	シェネの習得とともに、スポットや注意点を把握する
3回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する①
4回目	ピルエットの習得とともにバレエのピルエットとの違いを把握する②
5回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる①
6回目	バットマンとピケターンの習得。リリースとコントラクションが出来るようになる②
7回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる①
8回目	テクニックの組み合わせ、それぞれのテクニックに磨きをかけ、繋げられるようになる②
9回目	振付を正確に覚え、目線や重心をコントロールが出来るようになる
10回目	動きの流れを掴み、周りの人とピッタリ揃って動けるようになる
11回目	ソデバスクやシェネジュッテなどのジャンプテクニックの習得する
12回目	踊りにしっかり緩急をつけられるようになる
13回目	パフォーマンスする意識を持ち表情に至るまで考えて踊ることが出来るようになる
14回目	課題の振りを踊るテストを行う
15回目	前期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋力トレーニングや柔軟を行い、与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できるようにする
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	自分がやりたいジャンル、そうでないジャンルと好みはありますが、せっかく色々なジャンルを学べる機会なので、貧欲に好き嫌いせず、どんどん吸収していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ジャズダンス (JAZZ DANCE)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	永田 萌
学科	ダンス&アクター科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	火曜日2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎トレーニング、基礎テクニックの練習を主体に、踊り方の面でも高い表現力を身に付ける為に、目線、重心、表情、緩急、色々な所に注意しながら繰り返し練習し身につける。 ※実務者経験: 1999年、劇団ひまわり入団。JAZZ DANCE、HIPHOP DANCEに興味を持ちレッスンを受け始める。劇団ひまわり退団後「サンスーシーHSDダンススタジオ」杉田裕美氏にJAZZ DANCEを、劇団『NEO企画』菊本健郎氏に演技をそれぞれ師事。数多くの舞台に立ちながら豊田のスポーツクラブやNEO企画にてレッスンを勤める。</p>							
<p>【到達目標】 プロフェッショナルとしての意識と知識を持たせ、様々な場面で活躍できる様にJAZZダンスのテクニックをしっかりと習得し、説明ができるところまでいかせる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	シェネを習得し、説明できる様にする
2回目	ピルエットを習得し、説明できる様にする
3回目	ピケターンを習得し、説明できる様にする
4回目	バットマン、ソデバスクの復習と習得する
5回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする①
6回目	ダウン、アップや簡単なステップやリズム取りを正確に取れる様にする②
7回目	シェネジュッテの習得、流れの中で不要な動きを無くしていく(振付)
8回目	アクセルターンの習得とスポット強化①
9回目	アクセルターンの習得とスポット強化②
10回目	シェネジュッテで体を倒せる様にして、そのままフロアに入れる様にする
11回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する①
12回目	エアプレーンの習得、フロアからの蹴りあがりの練習と習得する②
13回目	他の人の背中を転がる練習、フロア両足を開いて倒立し、その後足を滑り込ませる練習を行う
14回目	課題の振付を踊るテスト
15回目	後期の復習を行う
準備学習 時間外学習	時間外でも筋肉トレーニングや柔軟を行い、自分の体を作る事を心がける。 与えられた振付や授業の中で学んだテクニックなどを復習し、しっかりと習得できる様にする。
評価方法	①定期試験(80%) ②授業態度(20%)
受講生への メッセージ	あと1年！！1分1秒を大切に吸収できる物は全部吸収してください。 あと社交性も大切に！！そして今一緒に頑張っている仲間を大切に。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・タオル・シューズ 水分補給できるもの</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜3,4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている。)</p>							
<p>【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックの知識を身につけることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
6回目	簡単な動きの中で、自分が良く見える姿勢、ポーズ、シルエットを研究し歌唱パフォーマンスができるようになる
7回目	ステップ、ポーズのパリエーションを増やし、歌唱パフォーマンスができるようになる
8回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
9回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる(アイソレーション、ポップ、サイドスライド)
10回目	振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスができるようになる
11回目	振り付けの中で自分の見せ場がどこか検証し、歌唱パフォーマンスできるようになる
12回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
13回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	<p>※授業の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	<p>1. 出席・授業態度(40%)</p> <p>2. 実地試験(60%)</p>
受講生への メッセージ	<p>歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。</p>
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>iPad(カラオケ音源)</p> <p>ワイヤレスマイク</p> <p>ダミーマイク</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	歌唱時のフォームを意識することが出来るようになる
2回目	リズムを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
3回目	リズム+グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	共鳴についての知識を身につけることができる
6回目	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが出来るようになる
7回目	歌唱パフォーマンス時の体のバランスを整える知識を身につけることができる
8回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンス(前期よりクオリティの高い)を行うことができる
11回目	自分で付けた振り付けをさらに良くするためにどうしたらいいか検証し、前期よりクオリティの高い歌唱パフォーマンスを行うことができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、隙のないパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻			4	曜日・時限	木曜1,2限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)

【到達目標】
 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパトリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンス&ヴォーカル (Dance&Vocal)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻			4	曜日・時限	木曜1,2限	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前を選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	KYO-HEY
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日・5.6限

【授業の学習内容】

歌って踊れる声優アーティストとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。
 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても口習得する。
 *実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り
 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位)
 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催
 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位)
 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位)
 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演
 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、
 ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	個人目標設定を行う
2回目	ボディマップを正確に理解する
3回目	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る
4回目	歌唱時の正しい口の形を知る
5回目	正しい口の形を意識した歌唱が出来る
6回目	振り付けに合わせて、正しい口の形を意識した歌唱が出来る
7回目	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。
8回目	AO関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)
9回目	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する
10回目	ブレスとリズムの関係性を知る
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる
12回目	試験
13回目	試験総括(改善点を知る)
14回目	
15回目	

準備学習 時間外学 習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること ・踊りやすい服装でスニーカーを持ってくる ・一つ前の授業で行った振りを次の授業で踊れるように復習しておく事	
-------------------	---	--

評価方法	・課題成果「出席・ 授業態度」:40%・実 技試験:60%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	-------------------------------------	--

受講生への
 メッセージ
 歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことが
 あります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りま
 しょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ライブパフォーマンスⅢ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	KYO-HEY
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	後期
コース	声優アーティスト専攻			(単位)	4	曜日・時限	水曜日・5.6限

【授業の学習内容】

歌って踊れる声優アーティストとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。
 自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。
 *実務経験(Dance & Vocal) : WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り
 2018年9月 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本・6位)
 2019年 ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催
 2021年6月 2ndアルバム「Inside」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本1位)
 2021年10月 「Lovely Place」リリース(iTunes Store・R&B/ソウル トップアルバム・日本2位)
 2022年8月 NY Apollo Theater Amateur Night 出演
 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行なっている。)

【到達目標】

ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルススキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上させる。

授業計画・内容

1回目	前期の振り返り
2回目	ボディマップを正確に理解する
3回目	筋感覚を意識することで包括的認識力を知る
4回目	歌唱時の正しい口の形を知る
5回目	正しい口の形を意識した歌唱が出来る
6回目	振り付けに合わせて、正しい口の形を意識した歌唱が出来る
7回目	歌唱前のストレッチから正しい体の使い方のアプローチ方法を知る。
8回目	AO関節のバランスを取れるようになる(首の無駄な緊張をなくす)
9回目	腰椎と胸郭のバランス、股関節のバランスを理解する
10回目	ブレスとリズムの関係性を知る
11回目	振り付け、構成付き歌唱パフォーマンスを行うことができる
12回目	試験
13回目	試験総括(改善点を知る)
14回目	
15回目	

準備学習 時間外学 習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスをする楽曲は歌詞を暗記して来ること ・歌詞をノートに書いて持って来ること ・踊りやすい服装でスニーカーを持って来る ・一つ前の授業で行った振りを次の授業で踊れるように復習しておく事	
-------------------	---	--

評価方法	・課題成果「出席・ 授業態度」:40%・実 技試験:60%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	-------------------------------------	--

受講生へのメッセージ
 歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

iPad(カラオケ音源)、マイク、キーボード、歌詞ノート、スニーカー

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アクション基礎	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻 声優アーティスト専攻			曜日・時限	月曜日3限		
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エンターテイナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手役に怪我をさせない基本的な殴り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経験：哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な殴り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない殴り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	基本の殴り方の習得を行う① ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
2回目	基本の殴り方の習得を行う② ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(拳の握り方・ファイティングポーズ・殴りの基本の型(オーソドックススタイル))
3回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポーズスタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し左右])
4回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポーズスタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀左右])
5回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う③ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])
6回目	基本の殴り方・蹴り方の習得を行う④ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])
7回目	リアクションの基本の習得を行う ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形
8回目	対人での拳の通し方が出来るようになる ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
9回目	対人での拳の通し方が出来るようになる② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方
10回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
11回目	対人での蹴りの出し方が出来るようになる② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○対人での拳の通し方・蹴りの出し方
12回目	対人でのアクションの習得を行う① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○リアクションの基本の形 ○1対1のアクション
13回目	対人でのアクションの習得を行う② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ ○現代アクション(殴りの基本の型・蹴りの基本の型) ○1対1のアクション
14回目	前期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋カトレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見せる演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えて来ています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となってきますので、体調管理をしっかりして休まないようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 通年：動きやすい服装・上履き	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アクション基礎	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴鹿貴規
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻 声優アーティスト専攻						
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エンターテイナーとして基礎体力と身体作りを重要なポイントと定めて、しっかり筋力や柔軟性を身につける。 アクションでは、相手役に怪我をさせない基本的な殴り方・蹴り方、リアクションや間合いの取り方を習得する。 ※実務者経験: 哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテインメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な殴り方、蹴り方、リアクション、間合いを理解している。 目標①自身が怪我をしない、相手に怪我をさせない殴り方、蹴り方を理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③アクションだけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ボディアクションの基礎の習得を行う① ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
2回目	ボディアクションの基礎の習得を行う② ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
3回目	ボディアクションの基礎の習得を行う③ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら対人での拳の通し方・蹴りの出し方
4回目	ボディアクションの基礎の習得を行う④ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
5回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑤ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
6回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑥ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
7回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑦ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対1のアクション
8回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑧ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
9回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑨ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
10回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑩ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
11回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑪ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
12回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑫ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
13回目	ボディアクションの基礎の習得を行う⑬ ○授業心得の説明○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ○現代アクション(殴りの基本の型[オーソドックススタイル・サウスポースタイル]・蹴りの基本の型[前蹴り・回し・足刀・後ろ回し蹴り左右])○移動しながら1対2のアクション
14回目	後期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋カトレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	アクションは実際に殴ったり蹴ったりする格闘技ではなく、戦っているように見せる演技です。 近年、映画やドラマだけでなく2.5次元舞台でも戦う物が増えて来ています。 俳優だけでなく表現者として必要な技術となってくるので、体調管理をしっかりして休まないようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 通年:動きやすい服装・上履き	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アクション応用	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科 スーパー・エンターテイメント 俳優・タレント専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ミュージカル本科専攻					曜日・時限	月曜日1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者としてに必要なボディバランス・基礎体力の習得を目指し、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。 基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。 ※実務者経験：哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベ エンターテイメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。 目標①怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う①(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(刀の名称・刀の持ち方・基本の型)
2回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う②(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足)
3回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う③(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・無対象での刀の振り方の実践)
4回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う④- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・移動しながらの刀の振り方の実践)
5回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う④- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・移動しながらの刀の振り方の実践)
6回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑤- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)
7回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑤- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・複数人数で移動しながらの刀の振り方の実践)
8回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- I(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
9回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- II(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
10回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- III(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
11回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- IV(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
12回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- V(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
13回目	○アップ・筋カトレーニング・ストレッチの習得を行う⑥- VII(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対1での移動演習)
14回目	前期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋カトレーニング。またお風呂あがりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	1年次に身に付けた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたことで怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかりと行いましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 通年：動きやすい服装・木刀・ベルト	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アクション応用	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴鹿貴規
学科	ダンス&アクターズ科 スーパー・インター・タレント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	月曜日1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 表現者として必要なボディバランス・基礎体力の習得を目指し、怪我をしない為の筋力や柔軟性を身につける。 基本的なマット運動でボディバランスを習得し、殺陣では、刀の所作や間合い、刀の扱いを理解し、立ち回れるようになる。 ※実務者経験：哀川翔出演舞台「座頭市」、関ジャニ∞安田章大主演舞台「カゴツルベ」など多くの舞台に出演し、2005年にはワタナベエンターテイメントカレッジで芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導にも力を注ぎ、500名以上の俳優を送り出している。							
【到達目標】 健全な肉体と精神、そして体力の向上。安全な刀の振り方や所作を理解している。 目標①怪我をしたりさせたりしない刀の扱い・間合いを理解している。 目標②対人になった時の適正な間合いを理解している。 目標③殺陣だけでなく物事に対する向上心、芸事に真摯に向き合う心を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う① ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
2回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う② ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
3回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う③ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
4回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う④ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
5回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑤ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
6回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑥ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対2での移動演習)
7回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑦ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
8回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑧ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
9回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑨ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
10回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑩ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
11回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑪ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
12回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑫ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
13回目	マット・時代殺陣の基礎の習得を行う⑬ ○アップ・筋カトレーニング・ストレッチ(1年次より高負荷なトレーニング) ○マット(前転・分解前転・後転・倒立前転・後転倒立・側転・ロンダート・前受け身・後ろ受け身・首抜き) ○殺陣(基本の型・基本の足運び・摺り足・1対3での移動演習)
14回目	後期振り返りを行い、実技テストに向けての対策を行う
15回目	実技テストを行う
準備学習 時間外学習	アクションの授業を受けるにあたって、怪我防止のため必要最低限の筋力と柔軟性が必要です。 腕立て伏せ・腹筋・背筋等の筋カトレーニング。またお風呂ががりのストレッチ・柔軟を行って頂きたいです。
評価方法	①出席率(20%) ②事業態度・実技(40%) ③個人のスキルアップ具合・習得率(40%)
受講生への メッセージ	1年次に身に付けた物をボディバランスをベースに素手ではなく刀を使用した授業になります。 マット運動は全身運動になりますのでボディバランス・筋力が必要となります。 ちょっとしたことで怪我の可能性が高い為、より集中力を必要としますので体調管理をしっかり行いましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 通年：動きやすい服装・木刀・ベルト	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜日3,4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコを実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。 ※実務者経験: 声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。</p>							
<p>【到達目標】 人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。 目標①人前で表現することへの抵抗をなくす 目標②マイク前でも全身で表現できる 目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定</p>							

授業計画・内容	
1回目	(目標①)自己紹介、初見力チェック、今後の目標設定を行う
2回目	(目標①、③)シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
3回目	(目標①、③)シアターゲーム、エチュード、滑舌練習課題を行う
4回目	(目標①)シアターゲーム、エチュード、感情解放が出来るようになる
5回目	(目標①)シアターゲーム、滑舌練習、セリフ原稿を読めるようになる
6回目	(目標②)セリフ原稿/マイク前での表現が出来るようになる
7回目	(目標②)セリフテクニック講義/セリフ原稿での実践を行う出来るようになる
8回目	(目標②)掛け合い/人と一緒に作品を行う
9回目	(目標②)サウンドドラマ1/台本を読み解くが出来るようになる
10回目	(目標②)サウンドドラマ2/複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
11回目	(目標②)サウンドドラマ2/複数人と作品作り、舞台を想定して作品を作り上げる
12回目	(目標②)サウンドドラマ3/舞台発表を行う
13回目	(目標②)サウンドドラマ3/舞台発表を行う
14回目	(目標②)サウンドドラマ4/音声作品としての収録を行う(※期末試験とする)
15回目	前回の音声を再生し、今期の目標達成度の確認と後期の目標設定を行う
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。 評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。 みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性があります。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アフレコを行うためには、演じる上での基礎力、表現力を安定させた上で、アフレコを実際に行う際の専門的な技術が必要です。この授業ではまず感情解放、エチュード、シアターゲームなどを行い表現することに慣れ、そして様々な台本を用いて音に特化した基礎力と表現力を身につけるためのマイク前演習を行う。 ※実務者経験: 声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 人に伝わる発声力、滑舌力を最低限確保し、表現する楽しさを体感する。 目標①人前で表現することへの抵抗をなくす 目標②マイク前でも全身で表現できる 目標③最低限人に聞き取れるだけの発声力、滑舌力の安定							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える 後期の目標設定。ボイスドラマ教材②の班決め、読み合わせ。滑舌チェック。
2回目	実際に動きをつけ、全身で台本を演じきる ボイスドラマ教材② それぞれに持ち寄ったアイデアを詰める練習時間を取った後、仮発表。 舞台として細かく作り上げて、セリフや動きの共有をおこなっていく。
3回目	舞台としてドラマを完成させる ボイスドラマ教材② 最終確認の練習時間をとり、舞台として各班ごとに発表していただきます。
4回目	先週の舞台を声だけで再現する ボイスドラマ教材② 先週舞台として作り上げたものをマイク前で収録を行います。 全身で演じたものをどうやって音だけで再現するのかを練習して収録していきます。
5回目	先週の反省、今後の課題を見つける。 先週収録したボイスドラマ教材②を聴いていきます。その反省を踏まえて次のボイスドラマ教材③へ入っていきます。 また新たな台本での班決めや打ち合わせ時間を作ります。
6回目	読むのではなく演じるという感覚を身につける ボイスドラマ教材③ 各班ごとに細かく返して精度を上げていきます。一度収録してみます。
7回目	自分たちで考える力や習慣を身につける ボイスドラマ教材③ 先週収録したものを聴き、各班ごとに自分たちでどう改善すべきかを打ち合わせていただき、本番の収録をおこなっていきます。
8回目	演じたものがどう聞こえているのかを客観的に受け止める 先週収録した音声を聴き、ディスカッションしていきます。また、アフレコについての説明などもおこなっていきます。
9回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる① アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返していきます。
10回目	アフレコの難しさを体感し、危機感を向上させる② アフレコ題材を使用して、実際にアフレコをおこなっていきます。まずは短いシーンから試して繰り返していきます。
11回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える① 先週よりも長めのシーンを用いて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
12回目	まずは絵に合わせることにできる。マイクワークを考える② 先週よりも長めのシーンを用いて何度もアフレコを行い、まずは慣れていただきます。録って実際にみてみましょう。
13回目	自分の役に責任を持って生きる① 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
14回目	自分の役に責任を持って生きる② 長めのシーンをアフレコしていきます。テスト、ディレクション、本番と行い、今期の成果を収録します。
15回目	後期試験 オーディションのように当日課題でセリフへの適応力や基礎力を見せていただきます。
準備学習 時間外学習	目標③日々の積み重ねでしか習得できないものなので、毎日必ず日課として発声、滑舌練習を行ってください。 こちらの提示する課題をクリアできるまで毎週小テストを行います。
評価方法	基礎力、表現力はもちろん大切ですが、一般常識として授業への取り組み方も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●滑舌・発声の小テスト(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	常に楽しむ心を大切にしてください。ふざけるということではなく、目の前の事に興味を持ち、前向きに取り組むということです。 評価方法に記載している通り、取り組み方も重視していますので意識の持ち方も学んでいきましょう。 みなさんの具合を見ながらレッスンを進めていくので多少内容はシラバスと変わる可能性があります。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日5.6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	今期目標設定、プロになるための意識作りの講義、基礎力チェック
2回目	(目標①)アフレコ演習:マイクワーク、ロパクへの合わせ方などの技術面に集中する
3回目	(目標①)アフレコ演習:前回と同じ題材で、表現をプラスする
4回目	(目標①)アフレコ演習:技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる①
5回目	(目標①)アフレコ演習:技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる②
6回目	(目標②)アフレコ演習:色々な役を試して、人からの評価を聞く
7回目	(目標②)アフレコ演習:ここまでの実習を踏まえて、現在の自分のできること、できないことを確認
8回目	(目標②)アフレコ演習:前回確認した弱点に意識を集中する①
9回目	(目標②)アフレコ演習:前回確認した弱点に意識を集中する②
10回目	(目標③)アフレコ演習:コピーレッスン①として、まずは自分なりに表現する
11回目	(目標③)アフレコ演習:コピーレッスン②として、プロの音声をコピーし、再現し、先週との違いを確認する。
12回目	アフレコ演習:前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す①
13回目	アフレコ演習:前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す②
14回目	期末テスト:模擬オーディションを行う
15回目	アフレコ演習:皆さんにやりたい作品を選んでいただき思い切り表現を楽しむ
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているんな練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思います。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日5.6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験:声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える アフレコ題材② 新たな題材でのアフレコ演習です。 前期で行っていた題材とは求められることが全く違うので、その違いをどう表現すべきかを実践しながら掘り込んでいきます。
2回目	戦闘シーンでのスピーディーなコマ割りやアドリブへの対応力を養う アフレコ題材② Aパートの本番を行っていきます。踏まえてBパートにも入っていきます。 難しい戦闘シーンなど動きやアクションのアドリブに向き合っていきます。
3回目	実際の収録の流れを掴み、集中力を高める アフレコ題材② 実際のアフレコ収録の流れ、テスト、ディレクション、本番、別録り、ギャ録りを行います。 長時間ブースの中で息を殺し、集中力を途切れさせない必要があるのそういった空気を感じて現場への意識を高めます。
4回目	線画でのパクの合わせ方や読み取り方の難しさを知る アフレコ題材③ 線画でのアフレコを行います。完パケした映像とは違い、シーンを読み取る力、台本を読み解く力がより必要となり、またボールドに正確に合わせる感覚を掘り込んでいきます。
5回目	パクの合わせ方のコツを掴む アフレコ題材③ 長ゼリフなどがある際のパクのつかみ方。また本番として現場の流れで収録していきます。 次週までの宿題についての説明を行います。
6回目	表現をコピーし再現する アフレコ題材④⑤ 前週に先渡しにした音声付きの映像をコピーしてきていただき、アフレコに臨んでいただきます。男女それぞれに違った課題があるので、それぞれの与えられた役に集中してプロの技を盗むことにより、表現の引き出す方法、音と向き合う方法を知っていく。
7回目	コピーと表現により自分の可能性を広げていく アフレコ題材④⑤ また違った役について研究し、コピーしてより音や表現の幅を増やしていきます。
8回目	繊細な表現をつかむ アフレコ題材⑥ 非常に繊細な感情が求められる作品に入っていきます。 心を大きく動かしながらもバクに合わせる難しさを体感していきます。一つ一つの音の繊細さにもこだわっていきます
9回目	繊細な表現をつかむ① アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
10回目	繊細な表現をつかむ② アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
11回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく① アフレコ題材⑥ Bパートに入っていく、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
12回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく② アフレコ題材⑥ Bパートに入っていく、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
13回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ① アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
14回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ② アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
15回目	後期試験 アフレコ授業の集大成としての試験を行い、今後の進路相談などもおこなっていきます。
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているような練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思えます。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験：声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	今期目標設定、プロになるための意識作りの講義、基礎力チェック
2回目	(目標①)アフレコ演習:マイクワーク、ロパクへの合わせ方などの技術面に集中する
3回目	(目標①)アフレコ演習:前回と同じ題材で、表現をプラスする
4回目	(目標①)アフレコ演習:技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる①
5回目	(目標①)アフレコ演習:技術面、表現面共に総合的なクオリティをあげる②
6回目	(目標②)アフレコ演習:色々な役を試して、人からの評価を聞く
7回目	(目標②)アフレコ演習:ここまでの実習を踏まえて、現在の自分のできること、できないことを確認
8回目	(目標②)アフレコ演習:前回確認した弱点に意識を集中する①
9回目	(目標②)アフレコ演習:前回確認した弱点に意識を集中する②
10回目	(目標③)アフレコ演習:コピーレッスン①として、まずは自分なりに表現する
11回目	(目標③)アフレコ演習:コピーレッスン②として、プロの音声をコピーし、再現し、先週との違いを確認する。
12回目	アフレコ演習:前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す①
13回目	アフレコ演習:前回のコピーで学んだことを生かし、表現の幅を試す②
14回目	期末テスト:模擬オーディションを行う
15回目	アフレコ演習:皆さんにやりたい作品を選んでいただき思い切り表現を楽しむ
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているんな練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思えます。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アテレコ実習 (After recording practice)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	兼田 めぐみ
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 現場を見据えてのアフレコ実践を行います。瞬発力や初見力を鍛えるために当日に全てチェックすることもあれば、台本・映像共に先渡しし、授業の時間を実際の現場のように進行することで、実践力を磨くアフレコ演習を行う。 ※実務者経験:声優事務所に所属し、アニメや吹き替えナレーション、ゲーム、ラジオ、歌など様々な活動をした後、フリーに転身。吹き替えでは主にヒロインを担当。最近ではTV番組のボイスオーバーも行う。							
【到達目標】 たくさんのアフレコ演習を行う事でアフレコ技術を習得し、自分という商品価値を明確に言葉にできるようにする。 目標①アフレコ技術の習得 目標②自分の得手不得手を自覚して練習法を確率する 目標③プロの音を正しくコピーする							

授業計画・内容	
1回目	視聴者の対象年齢を踏まえての表現を考える アフレコ題材② 新たな題材でのアフレコ演習です。 前期で行っていた題材とは求められることが全く違うので、その違いをどう表現すべきかを実践しながら掴んでいきます。
2回目	戦闘シーンでのスピーディーなコマ割りやアドリブへの対応力を養う アフレコ題材② Aパートの本番を行っていきます。踏まえてBパートにも入っていきます。 難しい戦闘シーンなど動きやリアクションのアドリブに向き合っていきます。
3回目	実際の収録の流れを掴み、集中力を高める アフレコ題材② 実際のアフレコ収録の流れ、テスト、ディレクション、本番、別録り、ギャ録りを行います。 長時間ブースの中で息を殺し、集中力を途切れさせない必要があるのそういった空気を感じて現場への意識を高めます。
4回目	線画でのパクの合わせ方や読み取り方の難しさを知る アフレコ題材③ 線画でのアフレコを行います。完パケした映像とは違い、シーンを読み取る力、 台本を読み解く力がより必要となり、またボールドに正確に合わせる感覚を掴んでいきます。
5回目	パクの合わせ方のコツを掴む アフレコ題材③ 長ゼリフなどがある際のパクのつかみ方。また本番として現場の流れで収録していきます。 次週までの宿題についての説明を行います。
6回目	表現をコピーし再現する アフレコ題材④⑤ 前週に先渡しにした音声付きの映像をコピーしてきていただき、アフレコに臨んでいただきます。男女それぞれに違った課題があるので、それぞれの与えられた役に集中してプロの技を盗むことにより、表現の引き出す方法、音と向き合う方法を知っていく。
7回目	コピーと表現により自分の可能性を広げていく アフレコ題材④⑤ また違った役について研究し、コピーしてより音や表現の幅を増やしていきます。
8回目	繊細な表現をつかむ アフレコ題材⑥ 非常に繊細な感情が求められる作品に入っていきます。 心を大きく動かしながらもバクに合わせる難しさを体感していきます。一つ一つの音の繊細さにもこだわっていきます
9回目	繊細な表現をつかむ① アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
10回目	繊細な表現をつかむ② アフレコ題材⑥ Aパートの本番をおこなっていきます。
11回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく① アフレコ題材⑥ Bパートに入っていく、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
12回目	感情的な表現を絵やキャラクターとリンクさせていく② アフレコ題材⑥ Bパートに入っていく、より感情的な表現が求められる中、ヒトの琴線に触れる芝居とは何かを考えていきます。改めてアフレコがただの口先だけの芝居でなく心から動かす必要があるのだということを再認識する。
13回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ① アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
14回目	全力で芝居をしながら、冷静な客観性を持つ② アフレコ題材⑥ とにかく心を動かして芝居をすることが第一だが、それだけではアフレコはできないのでその中でも冷静にマイクや周りを把握できる客観性を忘れずに収録を行っていただきます。
15回目	後期試験 アフレコ授業の集大成としての試験を行い、今後の進路相談などもおこなっていきます。
準備学習 時間外学習	・発声力、滑舌力の練習は常に習慣として毎日行ってください。 ・目標②レッスン内に考えるきっかけは作っていますが、できることは日々変化するので常に自分に必要なことは何かを考え、試しているような練習法をとってみてください。(その中に目標③もぜひ組み込んでください)
評価方法	仕事を見据えてのレッスンとなるので、授業態度や出席率も重視しています。以下の項目での総合評価となります。 ●基礎力(30%) ●授業態度・出席率(30%) ●表現力(30%) ●期末テスト(10%)
受講生への メッセージ	配役については希望をとることもあれば、こちらで指定する場合もあるかと思えます。 配役をする以上、どんな役であれ抜けてしまうとみんなに迷惑がかかります。 休むということは信頼をなくし、配役する際にも考慮することになるので、しっかりと自分の体調管理にも気を配ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	片桐 佑季
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる 							

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク: 業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク: 人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク: 希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク: 夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク: 業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク: セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う
13回目	グループワーク: 振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	片桐 佑季
学科	ダンス&アクター科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。
 ※19歳から、ダンスの専門学校にてオールジャンルを学び、卒業後、名古屋にてインストラクターとして活動。2012年、静岡県を拠点とし、バックダンサー出演、ダンススタジオ運営、イベント制作、ダンスインストラクターとして活動。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容

1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動> ・ 自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番

準備学習
時間外学習

1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く
2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する
3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する
4. 事前課題など各種レポートを書く

評価方法

1. 課題成果(50%)
2. 出席率(50%)

受講生への
メッセージ

自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具
iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージカル基礎 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中右 貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻			(単位)	4	曜日・時限	土曜日5・6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ミュージカルに必要な発声・身体・思考力を総合的に学ぶ。
 この3つの要素を単体として捉えるのではなく、融合させることを学ぶことにより、ミュージカル俳優としての基礎力を身につけることができる。
 ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。
 その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。

【到達目標】
 ミュージカル台本を用いて、呼吸法(腹式)・発声法・柔軟性・考察力を学ぶ。
 目標①無理のないスムーズな発声や大きな声を出すことができる
 目標②自分が思い描く身体表現ができる
 目標③自分の演技プランを具現化できる

授業計画・内容	
1回目	ミュージカルに必要なもので、且つ自分に足りないものが理解できる
2回目	呼吸法について理解できる
3回目	発声法について理解できる
4回目	呼吸とに発声に無理・無駄がないか理解できる
5回目	柔軟性の重要性について理解できる
6回目	身体表現とは何かを理解できる
7回目	柔軟性と身体表現がつながっているを理解できる
8回目	台本・台詞を考察することができる①
9回目	台本・台詞を考察することができる②
10回目	台本・台詞を考察することができる③
11回目	ミュージカルナンバーを使い、呼吸法・発声法の実習を行い、習得する
12回目	ミュージカルナンバーを使い、身体表現の実習を行い、習得する
13回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する②
15回目	前期テストを行う
準備学習 時間外学習	呼吸法・発声法・柔軟性は日々行うことが不可欠です。 授業内だけでなく、自分でも毎日実施し、少しずつ向上させる必要があります。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	ミュージカルは身体を酷使する芸術です。 基礎をしっかり作り、怪我なく授業が受けられるよう体調管理に気を付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージカル「ライオンキング」他	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージカル基礎 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中右 貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻			曜日・時限	土曜日5・6限		

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ミュージカルに必要な歌唱・ダンス・演技を総合的に学ぶ。
 この3つの要素を単体として捉えず、全てを融合させることを学ぶことにより、即戦力となり得るミュージカル俳優としての実力・テクニックを身につけることができる。
 ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。
 その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。

【到達目標】
 歌唱・ダンス・演技をミュージカル台本を用いて学ぶ。
 目標①自分の言葉として歌詞を理解し、歌唱へと発展させることができる
 目標②自分の感情を身体表現へと発展させることができる
 目標③与えられた台詞を自分なりに具体的にかみ砕き、表現へと発展させることができる
 目標④オリジナルミュージカルの公演を行う

授業計画・内容	
1回目	歌唱・ダンス・演技について、自分に足りていないものが理解できる
2回目	歌詞について理解できる
3回目	メロディーについて理解できる
4回目	歌詞とメロディーを自分の言葉・感情として理解できる
5回目	ダンスの必要性について理解できる
6回目	自分の感情として身体で表現できる
7回目	人物像を深く掘り下げ考察することができる
8回目	役としての言葉で台詞を表現できる
9回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する①
10回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する②
11回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する①
12回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する②
13回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する②
15回目	後期テストの実施を行う
準備学習 時間外学習	歌・ダンス・演技を全て授業時間内で覚えてしまうことは、非常に難しいです。 授業時間外でも、暗譜・ストレッチ・考察することが必要です。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	少し慣れてくると、体・のどなど、怪我をしやすくなります。 基本発生やストレッチは自分を守ってくれますので、日々行うよう心掛けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージカル「アラジン」他	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージカル基礎Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科 スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	木曜日5・6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
ミュージカルに必要な発声・身体・思考力を総合的に学ぶ。
この3つの要素を単体として捉えるのではなく、融合させることを学ぶことにより、ミュージカル俳優としての基礎力を身につけることができる。
※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。
その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテイメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。

【到達目標】
ミュージカル台本を用いて、呼吸法(腹式)・発声法・柔軟性・考察力を学ぶ。
目標①無理のないスムーズな発声や大きな声を出すことができる
目標②自分が思い描く身体表現ができる
目標③自分の演技プランを具現化できる

授業計画・内容

1回目	ミュージカルに必要なもので、且つ自分に足りないものが理解できる。
2回目	呼吸法について理解できる。
3回目	発声法について理解できる。
4回目	呼吸とに発声に無理・無駄がないか理解できる。
5回目	柔軟性の重要性について理解できる。
6回目	身体表現とは何かを理解できる。
7回目	柔軟性と身体表現がつながっているを理解できる。
8回目	台本・台詞を考察することができる①
9回目	台本・台詞を考察することができる②
10回目	台本・台詞を考察することができる③
11回目	ミュージカルナンバーを使い、呼吸法・発声法の実習を行い、習得する。
12回目	ミュージカルナンバーを使い、身体表現の実習を行い、習得する。
13回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカルナンバーを使い、場面考察の実習を行い、習得する②
15回目	前期テストの実施を行う

準備学習
時間外学習
呼吸法・発声法・柔軟性は日々行うことが不可欠です。
授業内だけでなく、自分でも毎日実施し、少しずつ向上させる必要があります。

評価方法
●定期試験(50%)
●小テスト(10%)
●授業内評価(40%)

受講生への
メッセージ
ミュージカルは身体を酷使する芸術です。
基礎をしっかり作り、怪我なく授業が受けられるよう体調管理に気を付けてください。

【使用教科書・教材・参考書】
ミュージカル「ライオンキング」他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージカル基礎Ⅱ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中右 貴久
学科	ダンス&アクターズ科 スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻					曜日・時限	木曜日5・6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ミュージカルに必要な歌唱・ダンス・演技を総合的に学ぶ。 この3つの要素を単体として捉えず、全てを融合させることを学ぶことにより、即戦力となり得るミュージカル俳優としての実力・テクニックを身につけることができる。 ※実務者経験：劇団青年座研究所へ入所、演劇を学ぶ。その後、クラシックバレエ・ジャズダンスを学び、ミュージカル俳優を目指し音楽座へ入団。 その後、東宝芸能に移籍し、多数のミュージカルやTV、CMに出演。幼児教育番組NHK「にこにこぷんがやってきた!」、ベネッセ「こどもちゃれんじ」の歌のお兄さんとして計8年間出演。現在はフリーで、日本コロムビアやキングレコード他で数多くの童謡CDを歌い、コロムビア・キッズダンス(日本コロムビア)の振付け・講師として 保育者向けの講習会で全国をまわる他、アイズ・スクールオブ・エンターテインメントでアクターズクラス演技講師、三重アクターズ養成所講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 歌唱・ダンス・演技をミュージカル台本を用いて学ぶ。 目標①自分の言葉として歌詞を理解し、歌唱へと発展させることができる 目標②自分の感情を身体表現へと発展させることができる 目標③与えられた台詞を自分なりに具体的にかみ砕き、表現へと発展させることができる 目標④オリジナルミュージカルの公演を行う</p>							

授業計画・内容	
1回目	歌唱・ダンス・演技について、自分に足りていないものが理解できる
2回目	歌詞について理解できる
3回目	メロディーについて理解できる
4回目	歌詞とメロディーを自分の言葉・感情として理解できる
5回目	ダンスの必要性について理解できる
6回目	自分の感情として身体で表現できる
7回目	人物像を深く掘り下げ考察することができる
8回目	役としての言葉で台詞を表現できる
9回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する①
10回目	ミュージカル台本を使い、歌唱表現をよりドラマティックに発展させる実習を行い、習得する②
11回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する①
12回目	ミュージカル台本を使い、感情表現としての身体表現に発展させる実習を行い、習得する②
13回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する①
14回目	ミュージカル台本を使い、台詞表現をより深く考察させる実習を行い、習得する②
15回目	後期テストの実施を行う
準備学習 時間外学習	歌・ダンス・演技を全て授業時間内で覚えてしまうことは、非常に難しいです。 授業時間外でも、暗譜・ストレッチ・考察することが必要です。
評価方法	●定期試験(50%) ●小テスト(10%) ●授業内評価(40%)
受講生への メッセージ	少し慣れてくると、体・のどなど、怪我をしやすくなります。 基本発生やストレッチは自分を守ってくれますので、日々行うよう心掛けてください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 ミュージカル「アラジン」他</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像演技	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ全コース			(単位)	4	曜日・時限	土曜日5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 初旬はテキストを中心に、シーンを作ることを軸として進める。 クラスの様子に合わせてステップアップをしていき、カメラの前で演じる実習へと移行していく。 ※実務者経験: 1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。							
【到達目標】 ①映像媒体での演技・俳優の役割を理解する。 ②課題(テキスト)をシーンとして再現出来ること。 ③シーンに即した演技ができるようになること。							

授業計画・内容	
1回目	映像作品の特性や話法を紹介。授業概要について。
2回目	名作と呼ばれる映像作品はどういうものなのか。作品の見方などの解説。
3回目	前週の課題をどのように捉えたか。解説と質疑応答。
4回目	テキストを用いてシーンを作る①
5回目	テキストを用いてシーンを作る②
6回目	テキストを用いてシーンを作る③
7回目	テキストを用いてシーンを作る④
8回目	モンタージュ手法における映像演技の実験。
9回目	カメラの前で一つの時間を現出させる。実習。
10回目	テキストを用いてシーンを作る⑤
11回目	テキストを用いてシーンを作る⑥
12回目	撮影実習①
13回目	撮影実習②
14回目	撮影実習③
15回目	撮影実習④
準備学習 時間外学習	予め準備してあるテキストなどを読みこんで、キャスティングを行って以降は出来るだけ台詞を覚えて来てください。 準備時間は大体20分~40分くらい。
評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
受講生への メッセージ	まずはテキストを通して演技をしていきましょう。もし分からないことがあったら、遠慮せずに質問してください。
【使用教科書・教材・参考書】 テキスト・筆記用具	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像演技	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ全コース			(単位)	4	曜日・時限	土曜日5.6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ショートフィルムは、役者としてのカメラ前演技が向上するための授業です。
 繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。最終的には実践型の発表を行います。
 ※実務者経験：1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤しむ。

【到達目標】

コミュニケーション能力向上と他者にむけての自己表現力を上げる。
 (目標①) ワークショップやエチュードを行い演技することを学ぶ。
 (目標②) テレビと舞台での違いを身体に落とし込む。
 (目標③) 実戦形式で台本の作成発表。

授業計画・内容

1回目	授業の概要・目標説明と自己紹介が出来るようになる (宿題:何が面白かったか?具体的に言えるようにすること)
2回目	(目標①)自己紹介の発展として3分間の自己PRができるようになる。 (自己PR×2回・立ち方)
3回目	テキストを用いてシーンを作る①
4回目	テキストを用いてシーンを作る②
5回目	テキストを用いてシーンを作る③
6回目	テキストを用いてシーンを作る④
7回目	(目標②)台本の読み③ シーンが要求していることが理解でき、表現できるようになる。
8回目	(目標②)ショートシーンの撮影① 撮影技術を理解して表現できるようになる。
9回目	(目標③)ショートシーンの撮影② カメラアングルで印象の違いを理解できるようになる。
10回目	(目標③)台本作成
11回目	(目標③)撮影を行う①
12回目	(目標③)撮影を行う②
13回目	(目標③)撮影を行う③
14回目	(目標③)撮影を行う④
15回目	(目標③)発表会と振り返りを行う

準備学習 時間外学習	台本作成
---------------	------

評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
------	---------------------------

受講生へのメッセージ
 繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

--	--

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像演技	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ全コース			(単位)	4	曜日・時限	土曜日3.4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 初旬はテキストを中心に、シーンを作ることを軸として進める。基本的には連続した実習形式を進めて行くので、最低限のプロットのみでリハーサルを重ねて撮影を行います。前期と後期を通して、実習の発表という形で短い作品作りを行います。一定の手法ではなく、様々な手法・話法で撮影がおこなわれるという前提で実験していきます。 ※実務者経験：1995年から、声優・ナレーション業にて活動。1998年、劇団俳優座演技研究所入所。養成機関を経て、フリーランスとして舞台公演を中心に活動する傍ら、専門学校で非常勤講師として人材育成にも勤む。</p>							
<p>【到達目標】 ①映像媒体での演技・俳優の役割を理解する。 ②課題(テキスト)をシーンとして再現出来ること。 ③大きな演技が出来る前提で、抑制された自然な演技が出来ること。(内面を現出させる)</p>							

授業計画・内容	
1回目	映像作品の特性や話法を紹介。授業概要について。また、名作と呼ばれる映像作品はどういうものなのか。作品の見方など
2回目	TVドラマと劇場映画の違いについて。さまざまな撮影現場・撮影手法について。
3回目	前週までの質疑応答。映像作品における俳優の役割についてディスカッションを行う。
4回目	テキストを用いてシーンを作る。
5回目	ペア・あるいはグループごとに課題のシーンを演じる。
6回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
7回目	登場人物が4人以上のシーンを作る
8回目	人間関係とそれぞれの位置関係を決めながらシーンを演じる
9回目	会話を重視したシーンを演じる①
10回目	会話を重視したシーンを演じる②
11回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
12回目	リハーサルを重ねて撮影を行う
13回目	最小限のプロットでシーンを作り込む
14回目	台詞のない人間模様を、クローズアップで撮影する
15回目	一つのシチュエーションを演じ、様々な視点で撮影して確認とディスカッションを行う。
準備学習 時間外学習	事前に台本と配役が決まっている場合は、授業当日までに読みこみと役作りをしてきてください。 撮影実習の時は、役(あるいはシナリオ)に沿った衣装など持ってきてください。基本的に各ポジションが決まっている時は、役作りをして台詞を入れて来ておいて下さい。あえて台詞を入れないで来てほしい時はこちらから事前にお伝えします。
評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
受講生への メッセージ	一年間という限られた時間の中で、出来るだけ様々なスタイルの課題を進めていきます。もしかしたら前の課題とは正対のルールで課題が進むかもしれません。遠慮せずに質問や発言をしてください。つまるところ俳優の仕事は「役を演じる」ということです。カメラの前でどう演じるか。物語全体の中のどの瞬間を、いま演じているのか。その意識を常に持ち続けて課題に取り組んで下さい。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 テキスト・筆記用具</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像演技	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北岡 亮輔
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ全コース					曜日・時限	土曜日3.4限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ショートフィルムは、役者としてのカメラ前演技が向上するための授業です。繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。最終的には実践型の発表を行います。
 ※実務者経験:長良プロダクションに在籍中、演歌歌手山川豊の付き人を4年経験、その後地元名古屋に戻る。名古屋でタレント事務所を設立。俳優、そしてプロデューサーとしても幅広く活動中。2009年、劇団 Smile BaKation入団。

【到達目標】

コミュニケーション能力向上と他者にむけての自己表現力を上げる。
 (目標①)ワークショップやエチュードを行い演技することを学ぶ。
 (目標②)テレビと舞台での違いを身体に落とし込む。
 (目標③)実戦形式で台本の作成発表。

授業計画・内容

1回目	授業の概要・目標説明と自己紹介が出来るようになる (宿題:何が面白かったか?具体的に言えるようにすること)
2回目	(目標①)自己紹介の発展として3分間の自己PRができるようになる。 (自己PR×2回・立ち方)
3回目	(目標①)エチュード① 自由な発想で表現ができるようになる。
4回目	(目標①)エチュード② シチュエーションを正当化できるようになる。
5回目	(目標②)台本の読み① 作品のテーマに沿った解釈が出来るようになる。
6回目	(目標②)台本の読み② 登場人物の設定、感情を探り、表現できるようになる。
7回目	(目標②)台本の読み③ シーンが要求していることが理解でき、表現できるようになる。
8回目	(目標②)ショートシーンの撮影① 撮影技術を理解して表現できるようになる。
9回目	(目標③)ショートシーンの撮影② カメラアングルで印象の違いを理解できるようになる。
10回目	(目標③)台本作成
11回目	(目標③)撮影を行う①
12回目	(目標③)撮影を行う②
13回目	(目標③)撮影を行う③
14回目	(目標③)撮影を行う④
15回目	(目標③)発表会と振り返りを行う

準備学習 時間外学習	台本制作
---------------	------

評価方法	①授業内成果(50%) ②課題成果(50%)
------	---------------------------

受講生へのメッセージ
 繊細で大胆さが必要なので、丁寧に一つ一つ尚更活かされる学習内容を考えましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

--	--

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼先生
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聞き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼先生
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻					曜日・時限	木曜2限

【授業の学習内容】

作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。

音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、

身の回りの音から創造力を習得する。

※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】

音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容

1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却 復習

準備学習
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			4	曜日・時限	金曜日3・4限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。</p>							
<p>【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
11回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
12回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
13回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
14回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
15回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	進級発表 (Advancement announcement)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			4	曜日・時限	金曜日3・4限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。</p>							
<p>【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
2回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
3回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
4回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
5回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
6回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
7回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	バレエストレッチ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	清水 まゆ奈
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優/タレント専攻			(単位)	4	曜日・時限	木曜1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 動きの方向性、質感などを使い分け、その時が必要でどう動くべきか、求められている事を表現とし、形になる方法を習得する。 ※実務者経験:1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。							
【到達目標】 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	軸を感じ、立つ・歩くをオーダー通りに出来るようになる
2回目	ペアワーク:軸を使い互いの体を動かし感じる事が出来るようになる
3回目	軸を使いスパイラルフロアーエクササイズを行う
4回目	①ペアワーク:互いの体を引く、押す、離れる、触るを行う
5回目	②ペアワーク:動作にはどんな動きがあるのかを検証し取り入れることができるようになる
6回目	③ペアワーク:検証した動きはどのように見えるのかを検証し課題を見つけることができる
7回目	①グループワーク:数名に分かれて動きを出し合いお互いに確認を行う
8回目	②グループワーク:それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を考え発表を行う
9回目	②グループワーク:それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を作品に取り入れる考察を行う
10回目	②グループワーク:それぞれ身の回り、社会で起こっている問題点を作品に取り入れる考察を行う
11回目	③グループワーク:それぞれの課題にはどのような動きが必要か検証する
12回目	③グループワーク:それぞれの課題にはどのような動きが必要かグループ毎に発表を行う
13回目	④グループワーク:グループ同士で発表し合い、いるもの、いないものの検証を行う
14回目	⑤グループワーク:全体作品を発表する。さらにいるもの、いないものの検証を行う
15回目	⑥グループワーク:最終発表。物語を動きにした方法論の説明ができるようになる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	朝の授業なので、時間を調整して体を整えておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	バレエストレッチ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	清水 まゆ奈
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	俳優/タレント専攻			(単位)	4	曜日・時限	木曜1限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 体の動きの方向性、質感を使い表現につないでいく。その時何が必要でどうすべきか求められていることを自分で考え形に出来るように学ぶ。 ※実務者経験:1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。</p>							
<p>【到達目標】 踊りの基礎・応用を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	動きの元(軸を作る)のエクササイズを行う
2回目	動きの元(軸を作る)のエクササイズを行い軸を感じることができる
3回目	軸を作るエクササイズに振付を加え、軸の強化を行う
4回目	振付を使い、前や後ろに方向性を出して進んでみることを行う
5回目	前や後ろに方向性を出して進むとはどういうことか検証し、進むということはどんな事を連想させるかを知ることができる
6回目	進む動きをさらに発展させ、ねじる、もどすの動きを加えることを行う
7回目	グループになりお互いに見合うことを行い、動きがどういった意味合いに見えてくるかを検証し説明できるようになる
8回目	動きの意味合いを感じながら応用した振付を行う
9回目	グループになりお互いに見合うことを行い、動きがどういった意味合いに見えてくるかを検証し説明できるようになる
10回目	グループ毎に作品作りを行う
11回目	グループ毎に作品作りを行う
12回目	グループ毎に発表を行う
13回目	発表後、お互い見た感想や意見を交換し、どういう事が必要かを検証することを行う
14回目	検証結果を作品に反映させ、クオリティーを上げることを行う
15回目	最終発表を行う。作品に取り入れた動きの方法論の説明ができるようになる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	朝の授業なので、時間を調整して体を整えておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンスシアター	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 まゆ奈
学科	ダンス&アクター科 スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻			(単位)	4	曜日・時限	火曜1限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 動きの方向性、質感などを使い分け、その時何が必要でどう動くべきか、求められている事を表現とし、形になる方法を習得する。 ※実務者経験: 1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。</p>							
<p>【到達目標】 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体现し、自身の表現を迷わず出すことができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	フロアー、センターエクササイズを行う
2回目	フロアー、センターエクササイズ、ジャンプバリエーションを行う
3回目	基礎学習からステップを取り入れ振付を踊ることができるようになる
4回目	基礎学習から、自身で振付を作ることができるようになる
5回目	基礎学習から、振付、自身で作った部分、他の人が作った部分を組み合わせる踊ることができる
6回目	エクササイズ、コンタクト(ペアになり様々な動きを考える)を行う
7回目	エクササイズ、コンタクト(出てきた動きを覚えていく)を行う
8回目	作品制作を行う(グループになり題材を決める)
9回目	作品制作を行う(グループワーク: 題材をどう動きに変えていくか検証する)
10回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
11回目	意見交換した際に出た課題点の修正を行う
12回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
13回目	意見交換した際に出た課題点の修正を行う
14回目	作った作品について、その題材にした理由、動きへの変換の方法を説明できる
15回目	これまでに学んだ内容を振り返り、復習を行う
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	身体の基礎となるバーレッスン、地味にコツコツやってください
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ダンスシアター	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 まゆ奈
学科	ダンス&アクター科 スーパーエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	俳優・タレント専攻 ミュージカル本科専攻			(単位)	4	曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 体の動きの方向性 質感を使い表現につないでいくその時何が必要でどうすべきか求められている事を自分で考え形に出来るように学ぶ。 ※実務者経験:1985年よりダンス指導に現在に至る。2017年よりノルウェーとのアーティスト交流開始。また、Happinessを理念に作品を創作、発表をする。							
【到達目標】 踊りの基礎を習得し、様々な方法論を思考し体現し、自身の表現を迷わず出すことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	動きの元となるトータルエクササイズを行う
2回目	動きの元となるトータルエクササイズに振付をし対応力を知ることができる
3回目	トータルエクササイズに振付を足していき、対応力を知ることができる
4回目	動きをつかい表現し、自分の身体と表現力について知ることができる
5回目	作品作りに向けて題を決めることを行う
6回目	決めた題材に合った動きを探し、発見することができる
7回目	決めた題材に合った動きを探し、発見することができる
8回目	発見した動きを融合させ振付を考案することを行う
9回目	発見した動きを融合させ振付を考案し、作品作りを行う
10回目	発見した動きを融合させ振付を考案し、作品作りを行う
11回目	作品をグループ毎に発表し、意見を交換し合い課題を見つけることができる
12回目	見つかった課題を更に検証し、題材にあった動きの再考案を行う
13回目	グループ毎に作品の発表を行う
14回目	作った作品について、その題材にした理由、動きへの変換の方法を説明できる
15回目	これまでに学んだ内容を振り返り、今後の自分にどう生かしていくかを説明することができる
準備学習 時間外学習	ダンスだけでなく芝居や歌、映画など、世の中で必要とされているものに沢山触れ、自分の感覚を研ぎ澄ますことが必要です。
評価方法	1. 定期試験(100%)
受講生への メッセージ	身体の基礎となるバーレッスン、地味にコツコツやってください
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	卒業公演 (Graduation performance)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	120	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	8	曜日・時限	金曜日3~6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。
 ※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、「日本一ティーンに観られている」と言えるほどの舞台演出家です。

【到達目標】
 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。
 パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
11回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
12回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
13回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
14回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
15回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2023年度 シラバス

科目名 (英)	卒業公演 (Graduation performance)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	竹田 昌広
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	120	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	8	曜日・時限	金曜日3～6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験: 関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、“日本一ティーンに観られている、”と言えるほどの舞台演出家です。</p>							
<p>【到達目標】 ミュージカルに必要なダンス・歌・演技を理解する。 パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
2回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
3回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
4回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
5回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
6回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
7回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をする
11回目	リハーサル～公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	卒業公演本番1回目を行う
15回目	卒業公演本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	ダンス・歌・演技の3つの項目を理解しておく
評価方法	①定期試験(30%) ②課題成果(40%) ③出席率(30%)
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	月曜日4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。</p>							
<p>【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講義／発声(メカニズム)について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声(イエアオウ)が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声(ウラ声・オモテ声)が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ(リーダーによる)発声・滑舌(外郎売)が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(外郎売り)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日4限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。
※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。

【到達目標】
目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。
目標②相手に声が届くようになる。

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(戯曲セリフを抜粋)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。

【使用教科書・教材・参考書】
日本語の発音記号
ipad教材(ストレッチのやり方)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日1限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。</p>							
<p>【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	講義／発声(メカニズム)について。腹式呼吸のやり方、呼吸の体操の方法を習得する
2回目	演習／ストレッチ・呼吸の体操。表現に必要な声を出すことが出来るようになる
3回目	演習／ストレッチ・体力作り、発声(イエアオウ)が出来るようになる
4回目	演習／ストレッチ・発声(ウラ声・オモテ声)が出来るようになる
5回目	演習／ストレッチ・発声・ストレッチリーダーを決める
6回目	演習／ストレッチ(リーダーによる)発声・滑舌(外郎売)が出来るようになる
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(外郎売り)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 外郎売を覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	火曜日1限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ、体力作り、ウラ声・オモテ声による発声練習。滑舌練習。インプロゲーム、シアターゲーム、息の体操などを反復して習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①自分がイメージした声、滑舌が出来るようになる。腹式呼吸が出来るようになる。 目標②相手に声が届くようになる。							

授業計画・内容	
1回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる①
2回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる②
3回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる③
4回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる④
5回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑤
6回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑥
7回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑦
8回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑧
9回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑨
10回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑩
11回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑪
12回目	演習／ストレッチ・発声・滑舌・ゲームが出来るようになる⑫
13回目	演習／ストレッチ・発声・テスト課題の確認を行う
14回目	演習／テスト(戯曲セリフを抜粋)を行う
15回目	演習／ストレッチ・発声・テストの反省会
準備学習 時間外学習	呼吸の体操・滑舌練習。 セリフを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	基本の授業です。あせらず、毎日の繰り返し(反復)が大事です。 演技をするための準備を(身体・声)しっかり学ぶこと。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の発音記号 ipad教材(ストレッチのやり方)	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2.3	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜日5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／日本語の文法、その表し方(読み方)を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	発声・滑舌 (vocalization & articulation)	必修 選択	選択	年次	2.3	担当教員	山口 あきら
学科	ダンス&アクターズ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	ダンス&アクターズ科 全コース					曜日・時限	月曜日5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲーム。公演を通して、与えられた役の練習とその発声法を習得する。 ※実務者経験：桐朋学園短期大学演劇科を経て、劇団青年座に所属。俳優、演出家として幅広く活動を行っている。青年座の舞台をはじめ数多くの作品に出演。また、青年座や、東映アカデミー、朝日カルチャー、読売・日本文化テレビカルチャー、NSMや姉妹校でも講師を務め、学生からも業界の大先輩として熱い評価を受けている。その他、高校演劇県大会審査員や、和太鼓の作曲・演奏・指導など幅広く活動している。							
【到達目標】 目標①役を正しく理解し、自分がイメージした演技が出来るようになる。 目標②セリフのウラ側にある感情を表現できるようになる(サブテキスト)コミュニケーション力、人間力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ・発声・ゲーム／前期の振り返りを行い、今後の課題を理解する
2回目	ストレッチ・発声・ゲーム／公演用台本配布、初見読みを行い、理解する
3回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読み、脚本解釈を行い、理解する
4回目	ストレッチ・発声・ゲーム／オーディションを行い配役を決める。
5回目	ストレッチ・発声・ゲーム／キャスティング、本読みを行いサブテキストを理解する
6回目	ストレッチ・発声・ゲーム／本読みを行い、役がどう動くか、また小道具・衣装を考える
7回目	ストレッチ・発声・ゲーム／戯曲を通して読み、流れ、動きを考える
8回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、演出における、ミザンスを理解する
9回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、小道具・衣装を用意する
10回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる①
11回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる②
12回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる③
13回目	ストレッチ・発声・ゲーム／立ち稽古を行い、止めながら通しが出来るようになる④
14回目	ストレッチ・発声・ゲーム／通し稽古、公演
15回目	ストレッチ・発声・ゲーム／反省会
準備学習 時間外学習	授業の予習、復習、オーディションに対する予習。 台本下調べ(時代背景・漢字等)。 セリフ・動きを覚える。
評価方法	①授業での学習成果(50%) ②テスト(50%)
受講生への メッセージ	演技が説明にならないように、サブテキストを持って演技をすることを考えてください。 自分がイメージしたことが出来るような身体作りが大切。あせらず一步一步進んでゆくことが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 日本語の文法、分例 公演のための脚本	